

SCSK Minori ソリューションズ ソリューションBOOK





経営理念

夢ある未来を、共に創る

2021年10月にSCSKグループ3社が合併しました。
アプリケーション開発事業、インフラ基盤事業、運用サービス事業を融合し、
お客様の課題解決ならびに事業成長に向けたデジタル化を支援します。
今後は、多様化するニーズに応えるべく、クラウドネイティブを軸とした
高付加価値・高品質なITサービスを充実させていきます。



会社案内

社名	SCSK Minoriソリューションズ株式会社
設立	1980年6月
資本金	4億8千万円
資本構成	SCSK株式会社100%
社員数	1,431名(2022年4月現在)
本店所在地	〒135-0061 東京都江東区豊洲3-2-20 豊洲フロント5F TEL:03-6772-6900(代表)
拠点	大阪支社 〒541-0052 大阪府大阪市中央区安土町1-8-15 野村不動産大阪ビル10F TEL:06-4705-3901
	名古屋事業所 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦1-19-25 名古屋第一ビル・アネックス3F TEL:052-223-8388
	伏見オフィス 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦2-16-26 SC伏見BLDG.9F TEL:052-209-7023
	仙台事業所 〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町2-1-2 NMF仙台青葉通りビル6F TEL:022-261-6331
	松本事業所 〒390-0863 長野県松本市白板1-9-31 TEL:0263-38-5530

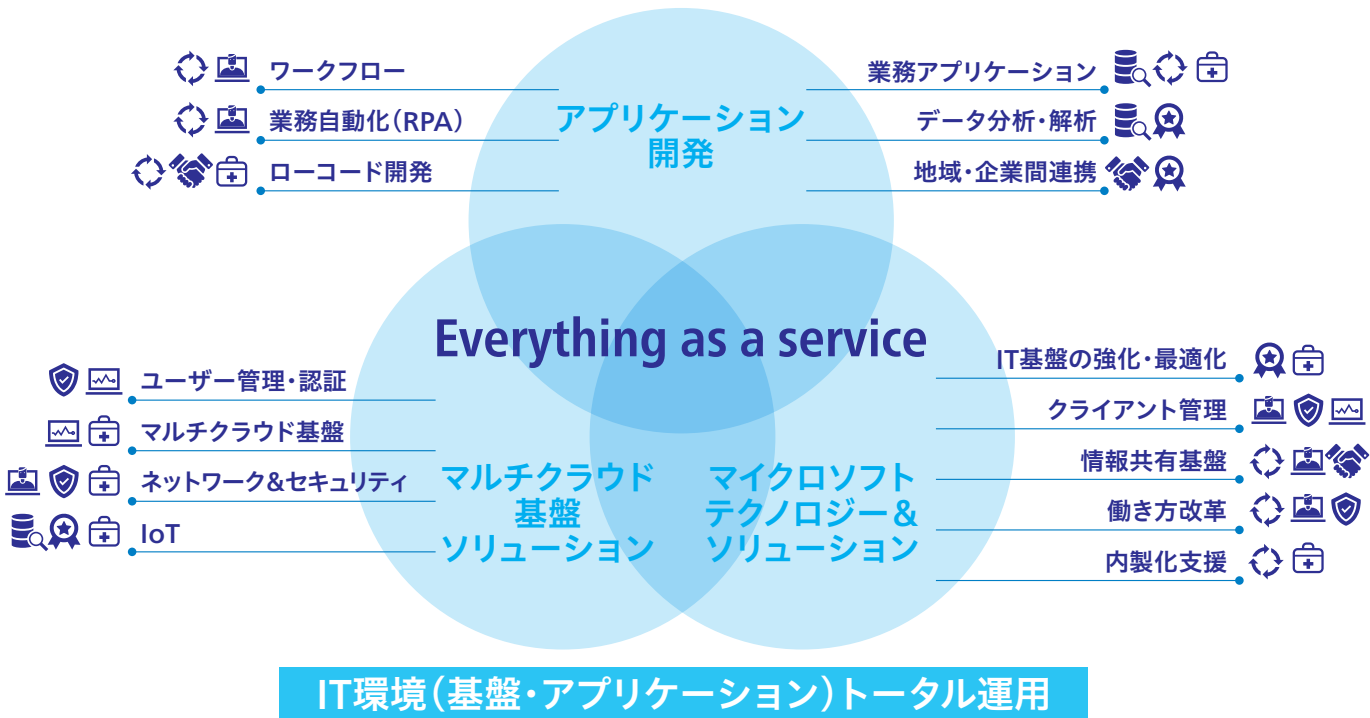


お客様が抱える経営課題解決に向けて、
ITを高度に活用しサポート

● 経営課題

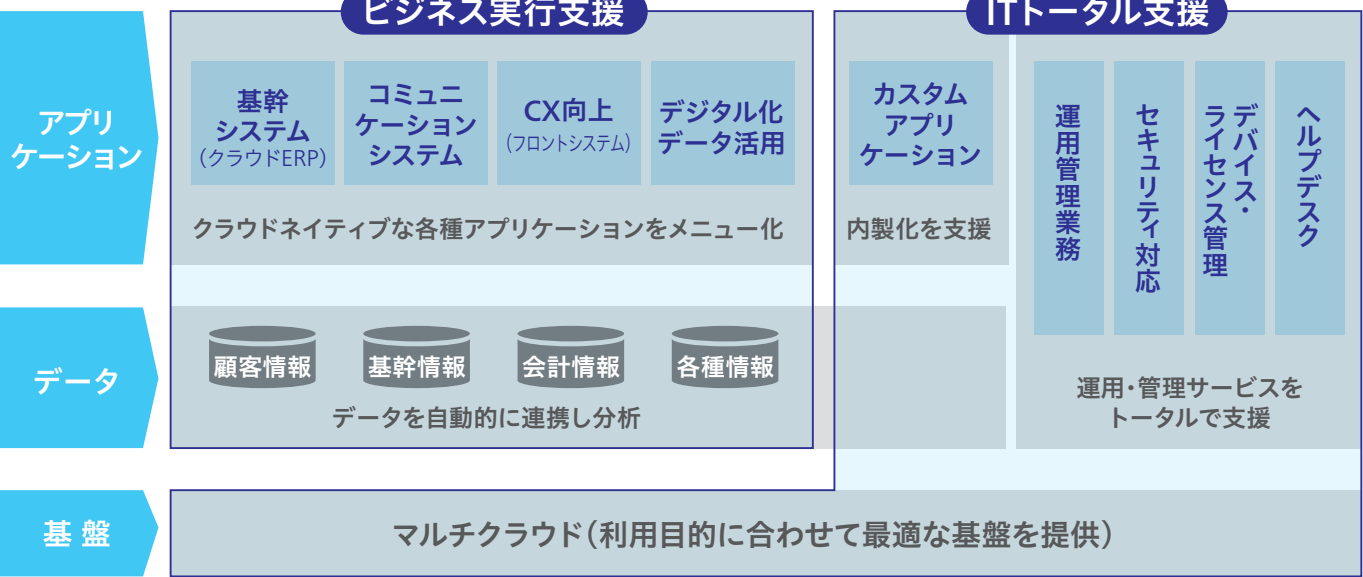


● SCSK Minoriソリューションズの提供サービス



中堅企業のさらなる成長へ向けて、データ活用を
はじめとしたトータルITソリューションを提供

● 全体イメージ



● サービスカテゴリと内容

サービスカテゴリ	ご提供価値	提供ソリューション
ビジネス 実行支援	基幹システム導入・活用	経営判断の迅速化・業務の標準化を低負荷で実現します SAP® Business ByDesign® ProActive C4
	Microsoft 365導入+コミュニケーション	コミュニケーション基盤の統一による情報の一元化に加え、利便性や作業効率を向上を支援します One Address 365 VMware Horizon®(VDI) Smart Workflow Cloud
	CX向上	顧客接点を強化することで、新規顧客の獲得・既存顧客の囲い込みを支援します intra-mart® kintone
	デジタル化&データ活用	グループ内のデータ活用による経営判断の迅速化と、社内のデータ活用による売上向上・コスト削減を支援します MinoRobo® CHECKROID PicoCELA
ITトータル 支援	ITトータル支援	安定した高セキュリティなシステム運営・サービスにより、少ない要員でのIT部門運営を実現し、人材の確保・育成の負荷が軽減します PerfectWatch for BitLocker aider Cast



Contents

ITサービスで解決できる経営課題

				迅速な 情報把握	業務の 効率化	働き方改革 の推進	セキュリティ 強化	営業力の 強化	製品価値 の向上	基盤運用 の効率化	基盤の 老朽化対策	SDGsへの 取り組み
アプリケーション	01 SAP® Business ByDesign®	中堅成長企業向けのクラウドERPソリューション	P07-08	●	●						●	
	02 ProActive C4	多くの実績があるクラウドERPで環境変化に強く永く対応	P09-10	●	●						●	
	03 ペーパーレス電帳法対応ソリューション	電子帳簿保存法に対応したペーパーレス環境を実現	P11-12		●	●						
	04 kintone	スムーズな情報共有を可能にするクラウドサービス	P13-14		●			●	●			
	05 MinoRobo®	国産RPAで簡単ロボット導入	P15-16		●	●						
	06 CHECKROID	すべての業種、業態に対応する巡回・点検作業効率化ソリューション	P17-18		●	●			●			
	07 Microsoft 365 関連テクノロジー Smart Workflow Cloud	Microsoft 365に対応した稟議対応ワークフロー帳票はPower Appsで簡単に作成	P19-20	●	●	●						
基盤	08 Nutanix(HCI)	サーバーとストレージを一体化仮想化環境の複雑さを劇的に解決するITインフラ	P21-22						●	●	●	
	09 VMware Horizon® (VDI)	デスクトップ仮想化ソフトウェアが提供するさまざまなデスクトップ環境	P23-24			●	●			●		
	10 IBM Power Virtual Server	企業、自治体向けクラウドストレージサービス	P25-26						●	●	●	
	11 PicoCELA	工事不要で“どこにでも”無線LANが設置できる	P27-28		●					●	●	
セキュリティ	12 HP Sure Click Enterprise	アプリケーション分離が変えるエンドポイントセキュリティ	P29-30				●			●	●	
	13 PlayBackMail Online	メール誤送信防止ソリューション	P31-32		●		●					
	14 ホットLookPlus	Outlook専用誤送信防止アドイン	P33-34		●		●					
運用管理	15 Microsoft 365 関連テクノロジー AD-easy	Active Directory / Microsoft 365アカウント管理ツール ※Microsoft 365 導入も別途承ります	P35-36		●		●			●		
	16 PerfectWatch for BitLocker	HDD/SDD暗号化ソリューション BitLockerの管理ツール	P37-38		●		●			●		
	17 Microsoft 365 関連テクノロジー One Address 365	Microsoft 365 グローバルアドレス帳同期ソリューション ※Microsoft 365 導入も別途承ります	P39-40		●	●						
	18 aider Cast	Windows 10更新の適用管理をワンストップで提供する運用サービス	P41-42		●		●			●		
ワークスタイル	19 Flex Work Place Passage	新しい働き方を実現するデータレスPCソリューション	P43-44			●	●	●				
	20 Zoom	働き方改革を促進する企業向けWeb会議ツール	P45-46		●	●		●				

● アプリケーション

中堅・成長企業向け SaaS 型クラウド ERP で
業務課題解決を実現

SAP® Business ByDesign®

SAP® Business ByDesign®は、全世界150ヶ国以上、7,700社以上で利用されている中堅・成長企業向けのクラウドERPソリューションです。SAP社がこれまでお客様から学んできた業務プロセスやノウハウを定義したビジネスシナリオを活用することで、低コストでの短期導入を実現します。

課題 基幹システムに関するこんなお悩みありませんか？

- 業務プロセスを標準化／効率化したい
 - ▶ 業務が属人化していて、標準化できる状態にない
 - ▶ 業務の標準化や効率化を進めたいが、システムが対応できない、またはその術を知らない
- 経営情報をリアルタイムに可視化したい
 - ▶ 複数のシステムから情報をかき集めて手間を掛けないと経営情報が把握できない
 - ▶ 経営層への報告レポートが統一されておらず、何が正解かわからない
- 事業環境変化へ柔軟に対応できるようにしたい
 - ▶ 事業拡大やグループ会社の増加などの環境変化に対して、柔軟に対応できるシステムではない
 - ▶ 周辺システムとの連携が手作業になっていたり、連携システムの追加や変更に膨大な費用が掛かる

効果 SAP® Business ByDesign®による解決例

- 業務プロセスの標準化／効率化を体現できる
 - ▶ SAP社がこれまで培ってきたベストプラクティスの業務プロセスをフル活用し、標準化や効率化を実現
 - ▶ 導入コンサルタントが、お客様に最適な業務プロセスをご提案し、伴走しながら標準化や効率化を実現
- 経営情報のリアルタイムな可視化と深い分析を提供
 - ▶ ヒト、モノ、カネ、情報を一元管理し、タイムリーな経営情報の可視化により意思決定をサポート
 - ▶ SAP® Business ByDesign®に標準搭載された500種類以上の分析レポートをフル活用できる
- 事業環境変化に柔軟に対応し、常に最新システムを利用
 - ▶ 事業拡大やグループ会社の増加などによる業務変更へも柔軟に対応できる
 - ▶ 四半期ごとの無償アップグレードで、常に最新のシステムを利用できる

SAP® Business ByDesign® の特長

- 1 SaaS方式で提供される統合型ERPソリューション**
SAP® Business ByDesign®は統合型クラウドERPソリューションだから、基幹システムを一本化し経営情報をリアルタイムに可視化して、迅速な意思決定を強力にサポート
- 2 低コストで短期間での導入が可能**
平均4～6ヶ月の導入期間により、初期投資額を抑制し、迅速に投資効果を実現
- 3 ベストプラクティスをすぐに利用可能**
SAP社がこれまでお客様から学んできたベストプラクティスを39のビジネスシナリオとして定義し、ビジネスシナリオをフル活用して、迅速な意思決定を支援する情報基盤の早期稼働を実現
- 4 常に最新システムを利用**
四半期ごとにアップグレードにより、常に最新機能を提供、アップグレードに伴う追加料金も不要

SAP® Business ByDesign®

シェアード
サービス



モバイル



アナリティクス



e-Learning



ワークフロー



各種の認証



オープン



SaaS



セキュア



グローバル

SDGsへの取り組み



● 中堅成長企業向けSaaS型
クラウドERPで業務改革実現

SAP® Business ByDesign®

詳しい情報はこちら▶

<https://bydesign.scskminor.co.jp/>



動画▶



● アプリケーション

環境変化に強く、永く使えるクラウドERPに
『実績』という安心を

ProActive C4

「ProActive C4」は、会計、人事給与、経費、勤怠管理などのフロントオフィス・バックオフィス業務システムで構成されるクラウド ERP として、バージョンアップなどのシステムライフサイクル対応まで一括してサービス提供します。サブスクリプションモデルで固定資産や導入に関わる初期コストを大幅に抑え、月額のお支払いにてご利用可能です。

課題 基幹システムに関するこんなお悩みありませんか？

- 企業グループ全体・各グループ企業ごとに数字を可視化し、経営状態の管理・ガバナンスを強化したい
- 経理DXを推進する必要があるが、どのような基盤でどのように実現すれば良いか悩んでいる
- 毎月の給与業務で手一杯となり、本来のコア業務に集中できない

効果 ProActive C4 による解決例

- シェアードサービスによる業務効率化を支援する豊富な機能
 - ▶ グループ各社のデータを一元管理できるマルチカンパニーへの対応をはじめ、各社情報へのアクセス権限などを設定するユーザ別セキュリティ設定、標準化された業務プロセスに沿ったメニューを作成できるProActive Naviなど、シェアードサービス業務を支援する豊富な機能を提供
- 豊富な機能と多彩な連携ソリューションで経理DX推進を支援
 - ▶ ProActiveシリーズの豊富な導入実績をベースに、優れたビジネスプロセスを凝縮、財務会計と管理会計を中心として経理業務を統合的に支援
 - ▶ AI-OCR、電子帳簿や電子請求書など、経理業務のデジタル化を促進する連携ソリューションも提供
- ProActive for SaaS人事・給与の利用
 - ▶ SCSKのクラウドERP「ProActive for SaaS人事・給与」をシステムとして利用、通勤旅費申請などの各種申請を電子化し、社員自身の直接入力を実現するセルフエントリー機能や、シチュエーション別に必要な申請書類を、従業員自身で確認できるナビゲーションシステムにより、業務量を削減する

SDGsへの取り組み



● 多くの実績があるクラウドERPで
環境変化に強く永く対応

ProActive C4の特長



- 1 使いやすい UI/UX**
日々の使いやすさにこだわったUI・UX



- 2 スマート導入・スマート保守**
早く、安心して使い続けていただけるスマート導入・スマート保守



- 3 一気通貫で行うBPOサービス**
システムからオペレーションまでを一気通貫で行うBPOサービス



- 4 プロフェッショナルサービス**
高度なデータ収集と経営指標の可視化を行い、お客様のビジネス成長を支援するプロフェッショナルサービス

ProActive C4の対応業務と機能関連



会計

経理DXの推進に向け、経理業務のデジタル化、ペーパーレス化などを推進します。また、法改正や会計制度の変更など、経理部門の抱える課題を解決します。



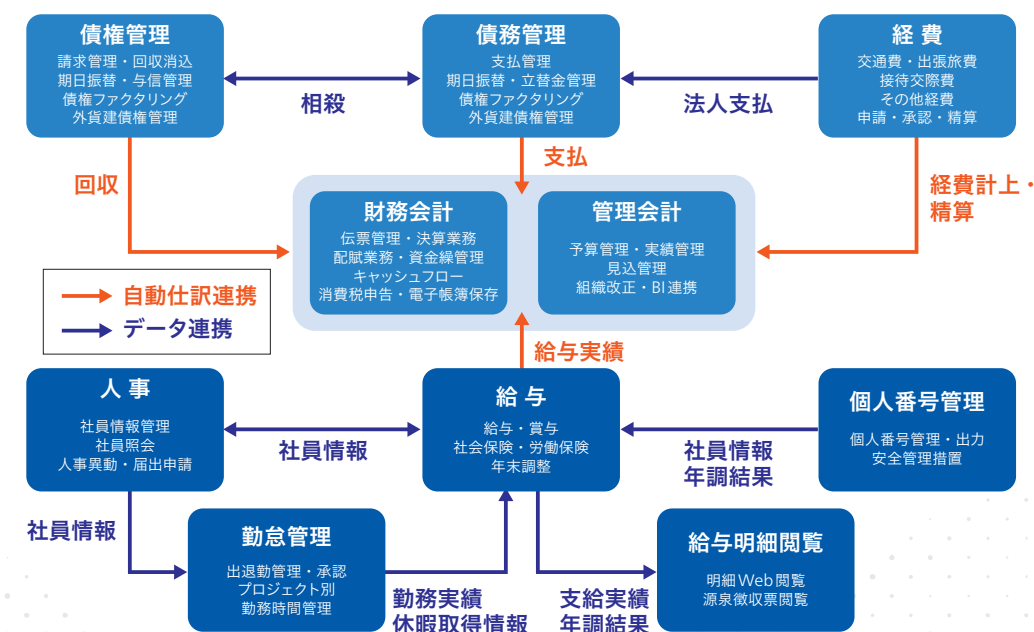
人事・給与

人事の定型・非定型業務の業務効率を改善し、給与業務のデジタル化の促進により、人事DXの推進や人事戦略の立案など、戦略的な業務へのシフトを実現します。



経費・勤怠管理

スマートフォンで行う経費申請・精算と、多様な勤務形態・雇用契約に対応した勤怠管理により、場所を選ばない、柔軟な働き方の実現を支援します。



ProActive C4

詳しい情報はこちら▶
<https://proactive.jp/>



● アプリケーション

電子帳簿保存法に対応した
ペーパーレス環境を実現

ペーパーレス電帳法対応ソリューション

2022年1月から国税関係帳簿書類の電子保存要件が大幅に緩和されたため、多くの企業が電子帳簿保存法への対応を検討しています。デジタル化による業務の効率化と電子保存によるコスト削減を両立するソリューションをご提供します。

課題 電子帳簿保存法への対応でお悩みはございませんか？

- 電子帳簿保存法に対応して紙の印刷・郵送・保管のコストを削減したい
 - ▶ 見積書・注文書・請求書・領収書など業務に必要な書類のほとんどを紙ベースで授受・保管している
 - ▶ 電子化によりコスト削減を実現したいが、業務に合ったソリューションが見つからない
- 書類の電子保存に合わせて業務プロセスを効率化したい
 - ▶ 書類の電子保存に合わせて対象文書の承認・押印プロセスもデジタル化したい
 - ▶ 取引先との接点からデジタル化し、業務プロセスの効率化を実現したい
- 電子帳簿保存法の義務化要件に備えたい
 - ▶ 義務化要件により将来的に電子で受領した書類は電子のまま保存する必要があるため備えておきたい

効果 ペーパーレス電帳法対応ソリューションによる解決例

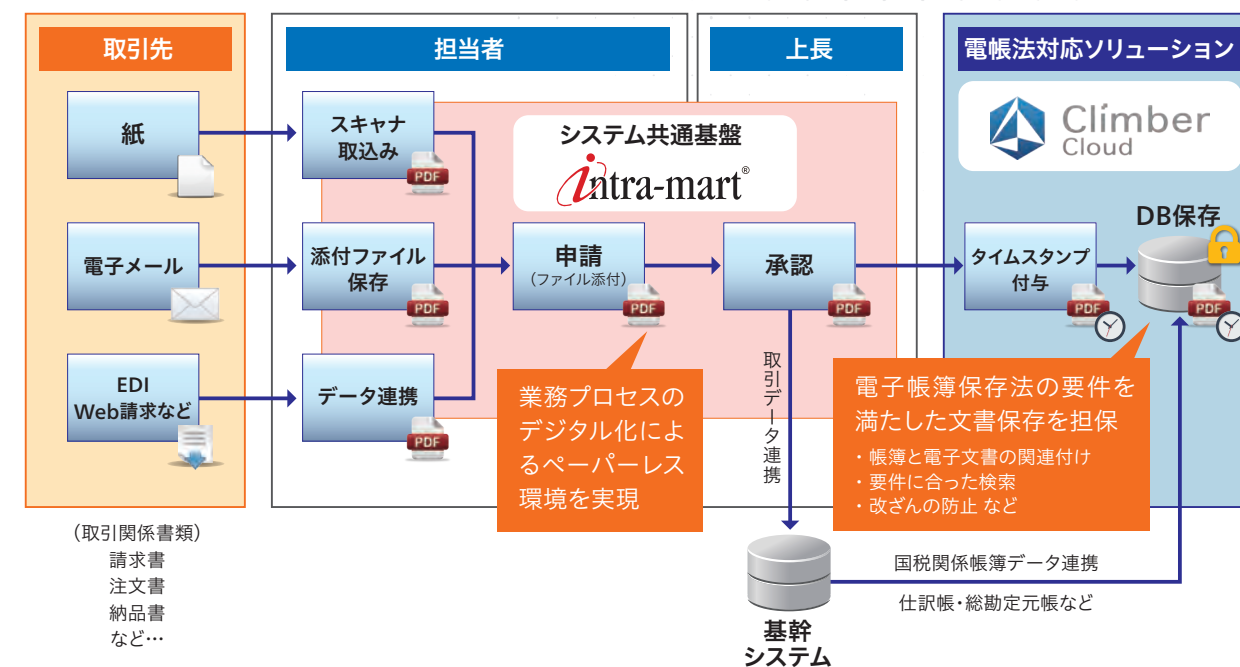
- デジタル化による業務の効率化と電子保存によるコスト削減を両立
 - ▶ 業務プロセスそのものをデジタル化することで、業務の効率化と電子保存によるコスト削減の両立を実現
 - ▶ 取引先との接点から社内承認フロー・電子保存までのプロセスをデジタル化することも可能
 - ▶ 電子で受領した書類を電子のまま保存できるため義務化要件にも対応することが可能

ペーパーレス電帳法対応ソリューションの特長

- 1 業務プロセスのデジタル化によるペーパーレス環境を実現**
対象書類の申請・承認・電子保存連携までを、システム共通基盤「Intra-mart」で実現
- 2 電子帳簿保存法の要件を満たした文書保存を担保**
電子帳簿保存法に対応した文書保存をJIIIMA認証ソリューション「ClimberCloud」で実現
- 3 業務の効率化とコスト削減の両立を実現**
デジタル化に合わせた最適な業務プロセスをご提案

● ペーパーレス電帳法対応ソリューション

電子帳簿保存法に対応したペーパーレス環境を実現



● 電子帳簿保存法に対応することのメリット

原本保存義務がなくなるため、**ペーパーレス**を推進することができる

→ 紙の印刷・郵送・保存のコスト削減

電子化により**業務改善・働き方改革**を推進することができる

→ 業務の効率化・テレワークの実現・コンプライアンス強化等

※「Intra-mart」の商標およびロゴは、株式会社NTTデータイントラマートの登録商標です。
※「ClimberCloud」の商標およびロゴは、株式会社NTTデータビジネスプレインズの登録商標です。
※掲載されている製品/サービス名称、社名、ロゴマークなどは該当する各社の商標または登録商標です。

■ SDGsへの取り組み



- 電子帳簿保存法に対応した
ペーパーレス環境を実現



詳しい情報はこちら▶

<https://www.scskminor.co.jp/product/climbercloud/>



● アプリケーション

スムーズな情報共有を可能にする
クラウドサービス

kintone

kintone（キントーン）は、『チームのメンバーが同じ情報や目的を共有することで強くなれる。ビジネスのバラバラをひとつに』をコンセプトに、素早く、柔軟にシステムが構築できる『業務改善プラットフォーム』です。昨今テレワークやペーパーレスの動きが加速しており、デジタル環境を素早く構築したいという需要が高まっています。加えて企業のシステム開発の方針が“内製化”に変わりつつあり、業務の変化に合わせてシステムを柔軟に作り変えられる『ローコード／ノーコードプラットフォーム』の採用が増えています。

課題 システムの散在にお悩みではありませんか？

- あちこちにExcelファイルが散在していませんか？
 - ▶ 営業活動や売上などをバラバラのExcelで集計している
 - ▶ 属人化、重くて開かない、集計作業に時間がかかる、最新版がわからない
- テレワーク中のプロジェクト管理はスムーズですか？
 - ▶ チームメンバーの現状がすぐに把握できず、素早い指示や対応ができない

効果 kintoneによる解決例

- バラバラのデータを簡単に一元化してチームの生産性を向上
 - ▶ kintoneなら、Excelファイルを読み込むだけでWebブラウザ上で編集・共有・管理が可能なアプリケーションになる
- ストレスフリーな「プロジェクト管理」を実現
 - ▶ 単発のプロジェクトから、長期におよぶプロジェクトまで、さまざまなプロジェクトの進行場所として役立つ

● 複数人で編集・共有・管理が可能に！



■ SDGsへの取り組み



- データベース型業務システムで
スムーズな情報共有を実現

kintone の特長

1 業務システムアプリを必要な数だけ

- ▶ 顧客管理や、交通費申請、お弁当注文、セミナー管理など、あらゆる業務に対応し、カスタマイズも簡単
- ▶ エクセルの読み込みやパーツをドラッグ&ドロップするだけでkintoneアプリ化が可能

2 データに紐付けたコミュニケーション

- ▶ 業務システム（アプリ）に溜まったデータに、指示やアドバイス、コメントなどのコミュニケーションを紐付けられる
- ▶ 過去の経緯や社員同士のやりとりも資産として蓄積

3 業務が円滑に進むコミュニケーションの場

- ▶ 議題ごとにコミュニケーションの場を分けることができる
- ▶ 業務プロセス（ワークフロー）に沿った進捗管理ができる

4 さまざまなデバイスからアクセス

- ▶ Webブラウザで見ることができるクラウドサービスのため、インターネットに繋がるデバイスさえあれば、いつでもどこでもアクセス可能
- ▶ メンバーからの連絡をスマホアプリの通知で受け取りリアルタイムに対応できる

5 外部サービスや基幹システムとの連携も

- ▶ 連携APIを活用したり、外部サービスや基幹システムとデータ連携することで、kintoneの機能を拡張可能

● 活用例

案件管理	契約書管理	TO DO	セミナー管理
問い合わせ管理	アンケート	クレーム管理	日報
プロジェクト管理	物品購入申請	社内システム管理	システム相談受付

● JavaScript/CSSファイルやAPI連携でkintoneの機能を拡大できる



たとえば「案件管理」で全体進捗の見える化

案件状況が見える化できるので迅速な指示ができるようになり、結果的に機会損失を激減させることができる



顧客ごとに案件情報を一元管理

チームで顧客情報を共有

条件を絞り込んで、見せる情報を変えられる



詳しい情報はこちら▶

<https://www.scskminori.co.jp/product/kintone/>



動画▶



● アプリケーション

シンプルなのに高性能
普段使いのRPAで簡単ロボット導入

MinoRobo®

『作りやすさ』と『安定動作』が大きな特長。お客様自身で業務を手軽に自動化できます。作業担当者のパソコン操作を“シナリオ”として設定することで、大量の定型作業を自動で処理でき、作業効率が大幅に改善します。“シナリオ”はプログラミングの知識が不要なため、担当者が作業内容に合わせて自由に作成することができます。

課題 日常の定型作業にこんな悩みありませんか？

- 日々の業務負荷が増大し人手が足りない
 - ▶ デジタル化が進む中で、オペレーションや入力業務も増大し手が回らない
 - ▶ 毎日同じことの繰り返しで、モチベーションも上がらない
- 入力ミスによる手戻り
 - ▶ 人の操作では、どうしても起こってしまう入力ミス、どこで間違えたのかを探すのも大変
 - ▶ 入力ミスを防止するために、2重チェックを行うと更に人手がかかってしまう
- クリエイティブな業務に時間が割けない
 - ▶ 企業収益を向上させるような、検討に時間のかかる、人でしかできない業務に集中できない

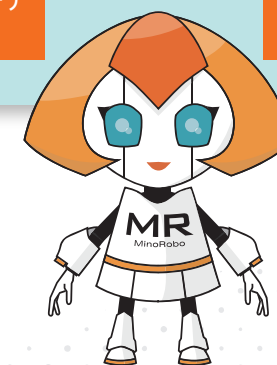
効果 MinoRobo®による解決例

- 業務品質の向上
 - ▶ ロボットは、正確かつ高速で作業を行うことができるため、業務品質を向上し負荷を軽減
 - ▶ 24時間365日稼働できるため、長時間や夜間の作業も可能となり効率化を図ることも可能
- 人材の有効活用
 - ▶ 定型業務をロボットに任せることで、人を必要とする高度な作業を行う時間を生み出す
 - ▶ わずらわしい業務から解放され、担当者のストレスを軽減することで、働き方改革にも貢献

製品・サービス名の特長

- 1 シンプル** マウス操作主体の直感的な操作でロボット作成
ブロックを積み上げる感覚でロボットを作成できる、日本語表示で迷わず設定可能
- 2 簡単保守** 可読性の高いシナリオでらくらくメンテナンス
業務が変更になった場合でも、メンテナンスもしやすいので保守も手間なく行える
- 3 安定・高速** オブジェクト認識で高い操作再現性を実現
アプリケーションのオブジェクト(ボタンや入力枠)を認識して操作するため安定し高速な実行が可能
- 4 安心サポート** 国産ならではの、迅速かつ柔軟なサポート対応
当社自社開発の純国産RPAツールです、柔軟かつ迅速なサポート対応で安心してご利用可能

● シンプルな画面、簡単操作でシナリオ作成



■ SDGsへの取り組み



- 作りやすさと安定動作のRPAで業務の自動化を実現

RPA MinoRobo®

詳しい情報はこちら▶
<https://minorobo.jp/>



動画▶



● アプリケーション

すべての業種、業態に対応する
巡回・点検作業効率化ソリューション

CHECKROID

CHECKROIDは、巡回点検の作業計画から報告までのプロセスをデジタル化し一元管理するソリューションです。デジタル化することで、確認漏れ・記入忘れなどの人的ミスを防ぎ、一連の作業にかかる時間を大幅に短縮します。また、蓄積されたデータを分析しPDCAサイクルを回すことで、業務効率化を実現します。「作業管理」「品質管理」「生産管理」など、あらゆる点検業務でCHECKROIDをご活用いただけます。

課題 紙のチェックシートの点検作業でお悩みありませんか？

■ 点検作業を効率化したい

- ▶ 事務所に戻っての転記作業が面倒、点検した後のチェックシートを管理するのが大変
- ▶ 「誰が」「いつ」「どこで」点検したか、簡単に管理したい

■ 点検作業のミスを防ぎたい、作業品質を向上させたい

- ▶ 確認漏れ、記入忘れや記入ミス等、人的ミスをなくしたい
- ▶ 担当者によってチェックするポイントがバラバラ、作業を標準化し品質を向上させたい

■ 点検データを有効活用したい

- ▶ 設備点検結果を分析し、生産品質の向上につなげたい
- ▶ 蓄積したデータを活用し、製品の傾向を分析したい

効果 CHECKROIDによる解決例

■ 作業計画・手順確認・報告・承認、すべてをモバイル端末から実施

- ▶ 管理者は管理画面から作業計画を入力し、作業者はモバイル端末で確認できます
- ▶ モバイル端末の表示に沿って作業を実施し、報告・承認まで完了できます
- ▶ 異常値や漏れはアラート通知され、写真データ添付やQRコードの利用も可能です

■ 点検結果はデータベースに保存、他システムとの連携も可能に

- ▶ 点検結果はDBに保存され、過去データの検索・活用も容易になります
- ▶ WebAPI機能を備え、分析ツールや既存システムと連携することでさらなる効率化、品質向上につながります

CHECKROID の特長

1 スマートフォンの利用が可能

点検時の操作は指一本で上下スクロールのみ、記入ミスや漏れは即座に検知しアラート通知

2 QRコード利用で正確な作業をサポート

点検対象機器にQRコードを貼りスキャンすることで当日の作業を確認、機器や作業の間違いを防止

3 オフラインでも点検作業が可能

端末内にデータを蓄積しオンラインになったタイミングで送信、NW使用を制限される環境でも利用可能

4 複数の点検を把握しやすいスケジュール管理機能

点検作業ごとの作業周期、作業ステータスや、「いつどこで誰が何を」点検しているか視覚的に判断可能



ライセンス体系

● クラウドサービスは最小5デバイスからの契約となります、利用する端末台数が少ない小規模の点検作業でもご利用いただけます

項目	クラウドサービス	オンプレ(パッケージ)
ご提供方法	クラウドサービス	パッケージ販売(買切り)
ライセンス形態	デバイスライセンス形式 (端末にインストールしたアプリの数をカウント)	
ご利用規模	5デバイスから契約可能	50デバイス以上の利用を想定
ソフトウェア保守	サービス利用料に含む	別途ソフトウェア保守サービスの購入が必要
カスタマイズ	不可	システム連携やカスタマイズが可能
お客様サーバー準備	不要	必要
お支払い	1か月単位から年払いも可能	一括払い

※CHECKROIDはSCSK 北海道株式会社のソリューションです。 ※掲載されている社名や製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

■ SDGsへの取り組み



- すべての業種業態に対応する巡回・点検作業の効率化を実現



詳しい情報はこちら▶

<https://www.scskminori.co.jp/product/checkroid/>



動画▶



● アプリケーション

Microsoft 365 を最大限に活用するための
ワークフローシステム

Smart Workflow Cloud

Smart Workflow Cloud は、Microsoft 365 に対応したワークフロー製品です。差し戻しや取り戻しなどの日本企業特有の申請・承認仕様に応える、純国産ワークフローエンジンです。クラウド環境に対応し、場所に依存しない申請・承認業務が可能な製品です。

課題

ワークフローでこんなお悩みありませんか？

- 申請書開発を内製したい、ユーザー部門でも開発を行いたい
 - ▶ 使用頻度が低い紙の申請・承認業務など内部で素早く作成したい
- 自社業務にあったフローを簡単に組みたい
 - ▶ 差し戻し・取戻し・代理承認・合議・条件分岐など独自のルール設定が難しい
 - ▶ 業務に合わせた複雑な承認フローの作成ができる人がいない
- Microsoft 365に対応したワークフローを探している
 - ▶ 利用中のTeamsやSharePoint Onlineを活用したい
 - ▶ Microsoft 365 同様に、どこからでも申請・承認したい／承認状況を確認したい



効果

Smart Workflow Cloudによる解決例

- ローコードで簡単に申請フォームやフロー定義の作成が可能
 - ▶ 申請フォームはMicrosoft 365で提供されるローコード開発プラットフォームであるPower Appsで作成できる
 - ▶ フロー定義はSmart Workflow Cloud独自のフロー定義作成ツールを利用し、GUI+ローコードでワークフロー開発が行える
- 自社業務にあったフローを簡単に作成可能
 - ▶ Smart Workflow Cloud独自のフロー定義作成ツールを利用して、業務プロセス図を作成するのと同じ感覚でフロー定義を作成できる
- Microsoft 365に対応したワークフロー
 - ▶ 認証にはAzure Active Directoryを、申請フォームにはPower Appsを、申請データの格納先にはSharePointリストを利用しているため、Microsoft 365をご利用中のユーザーは、ブラウザからまたはモバイルアプリからシングルサインオンでワークフローを利用できる

Smart Workflow Cloud の特長

Smart Workflow Cloud は、Microsoft 365 を最大限に活用できるワークフローです。

業務に応じた帳票の開発

1 開発の専門的な技術がなくても作れる 帳票画面例

専門的な開発スキルがなくても、PowerPointやExcel関数を使う感覚で申請書の作成が可能

2 さまざまな環境で利用可能

スマートフォンやタブレット、Web ブラウザなどさまざまな環境で利用可能

3 Microsoft 365があれば使える

Microsoft 365 Businessシリーズ、またはMicrosoft 365 E1以上のライセンスがあれば、PowerAppsライセンスの購入は不要

※申請者／承認者ともに、Power Appsライセンスを付与いただく必要があります
※データ連携には別途Power Automate per user ライセンスが必要となる場合があります

業務の流れをフロー化

1 ドラッグ & ドロップでフローを定義

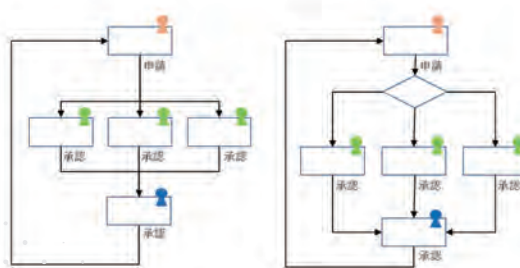
業務の流れを画面の上に置くだけで処理フローが完成

2 承認者決定プロセスを定義

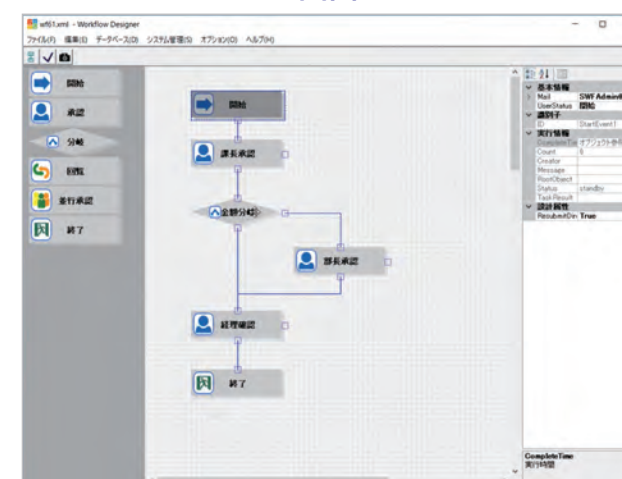
フローステップごとに通知先を変えたり、承認者の決定プロセスを定義したりすることが可能

3 日本企業特有の承認ルールも実現可

日本企業特有の複雑な承認ルールにも対応可能



ワークフローデザイナー画面



■ SDGsへの取り組み



● Microsoft 365 に対応した稟議対応ワークフロー。帳票はPower Appsで簡単に作成

詳しい情報はこちら▶

<https://www.scskminor.co.jp/product/microsoft-solutions-service/smart-workflow-cloud/>



動画▶



● 基盤

サーバーとストレージを一体化
仮想化環境の複雑さを劇的に解決するITインフラ

Nutanix(HCI)

複雑なレガシーインフラストラクチャーでは、ビジネスの急速な変化やニーズに迅速に対応することはできません。従来のインフラが抱えるさまざまな課題を、国内HCI市場シェアNo.1のNutanixが解決します。オンプレミスとパブリッククラウドのいいとこどりで、あらゆるワークロードを最適な環境でサポートします。

課題

サーバー管理に関するこんなお悩みありませんか？

- 数年ごとの更改プロジェクトにコストも時間もかかる
 - ▶ 基盤をすべて一度に入れ替えると、初期コストの負担が重くなる
 - ▶ 大量の仮想マシンを移行するのが大変
- 柔軟なシステム拡張が難しい
 - ▶ スケールアップするにはシステム停止が必要で容易に対応できない
 - ▶ サーバーを増やしてもストレージのパフォーマンスがボトルネックになってしまう
- インフラ環境が複雑化して運用に負荷がかかる
 - ▶ サーバー・ストレージ・ハイパーバイザーなど管理画面が多すぎる
 - ▶ バージョンアップ時などに互換性の確認が大変

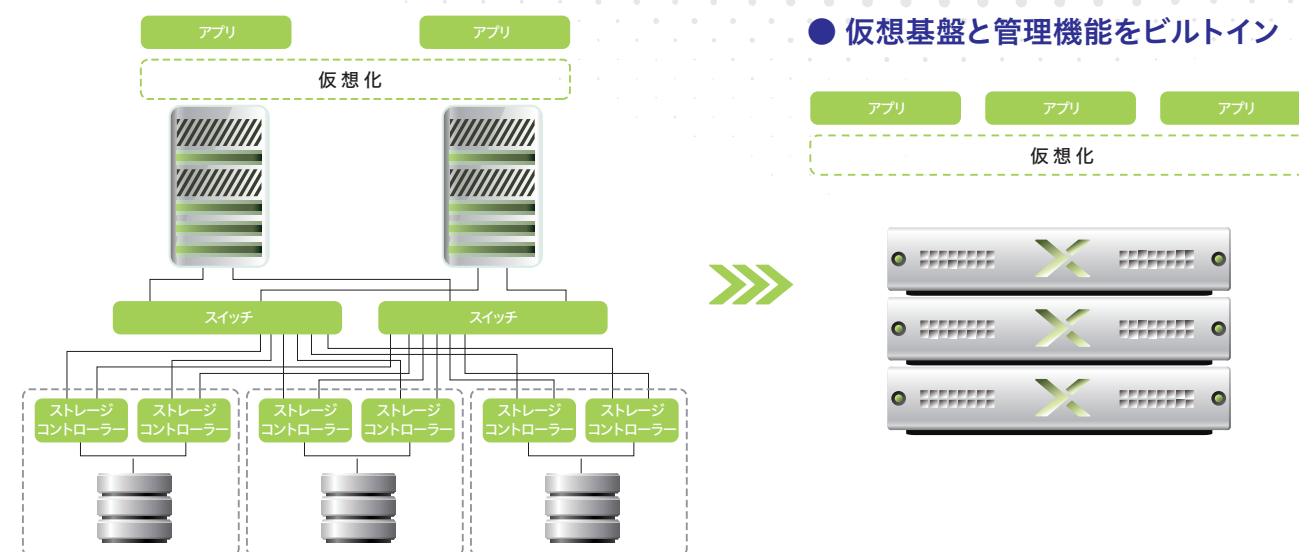
効果

Nutanixによる解決例

- 柔軟なシステム拡張と不要になる大規模更改プロジェクト
 - ▶ システムを停止することなく、1-Clickでノード追加が可能
 - ▶ サーバーノードを追加することで、ストレージのパフォーマンスも向上
- Prism(統合運用管理ツール)で運用負荷軽減
 - ▶ 標準搭載のPrismでサーバー・ストレージ・仮想マシンの状態を単一画面に統合して管理可能
 - ▶ ファームウェア、ハイパーバイザー等の1-Clickアップグレードを実現

Nutanix の特長

- 1 SDSテクノロジーにより、すべての機能をソフトウェアで実現**
1-Clickアップグレードで常に最新の機能を利用することが可能
- 2 優れた拡張性と高信頼性、高パフォーマンスを備えたストレージ**
分散処理によりボトルネックとなる要因を排除し、高いパフォーマンスを維持
- 3 マルチハイパーバイザーサポートと独自の管理機能**
VMware ESXi、Microsoft Hyper-V、Nutanix AHVをサポート、AHVは追加費用なしで利用可能
- 4 マルチクラウドの実現**
オンプレミス仮想基盤とパブリッククラウドを容易に接続することが可能



● 統合管理ツールPrismの画面イメージ



■ SDGsへの取り組み



- 仮想化環境の複雑さを解決する
統合インフラの提供

NUTANIX

詳しい情報はこちら▶

<https://www.scskminor.co.jp/product/nutanix/>

● 基盤

デスクトップ仮想化ソフトが提供する
さまざまなデスクトップ環境

VMware Horizon® (VDI)

VMware Horizon® は、VMware 社が提供する VDI（デスクトップ仮想化）製品です。VDI は、デスクトップイメージをサーバーに集約し、端末に画面のみ転送することで、どの端末からでも接続が可能になるソリューションです。ユーザーの使用感を損なわずにセキュリティの維持や運用の効率化を実現することができます。

課題

クライアント管理に関するこんなお悩みありませんか？

■ Windows 10の更新管理が大変

- ▶ アップデート時にPCのリソースを消費し、ユーザーの生産性に影響が出てしまう
- ▶ 長時間起動しないPCにパッチを適用することができない

■ ワークスタイル変革がなかなか進まない

- ▶ 自宅や外出先でもオフィスと同様の業務環境を整えるのが難しい
- ▶ PC以外のデバイスには対応できない

■ テレワークのセキュリティが心配

- ▶ PCに保存したデータが漏えいしないか心配

効果

VDIによる解決例

■ 運用管理の効率化

- ▶ マスターイメージからデスクトップを展開することで迅速な増設やパッチ適用を実現

■ テレワークにおける生産性・利便性向上

- ▶ オフィス以外のどこからでもオフィスと同様の業務環境を利用することが可能

■ セキュリティの強化

- ▶ PCにデータを残さないでデータ漏えいの心配なし

VDI の特長

1 ユーザーの利便性・生産性の向上

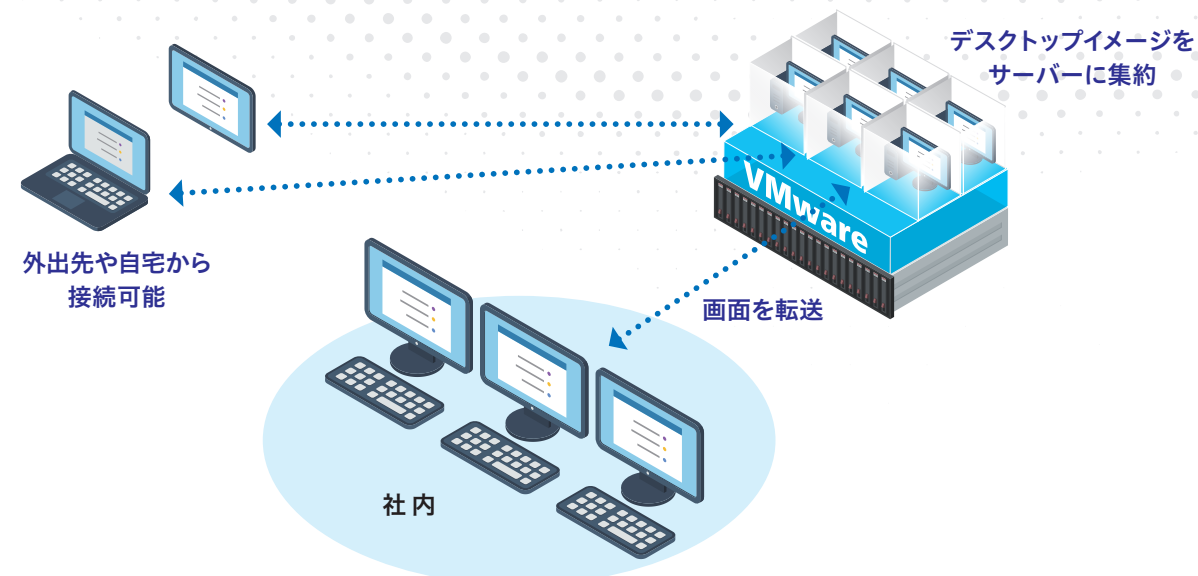
自宅や外出先などいつでもどこでも自分の仮想デスクトップにアクセス
パッチ適用などのメンテナンス作業から解放され、本来の業務に専念

2 PCの運用管理を従来の管理手法から効率的に変革

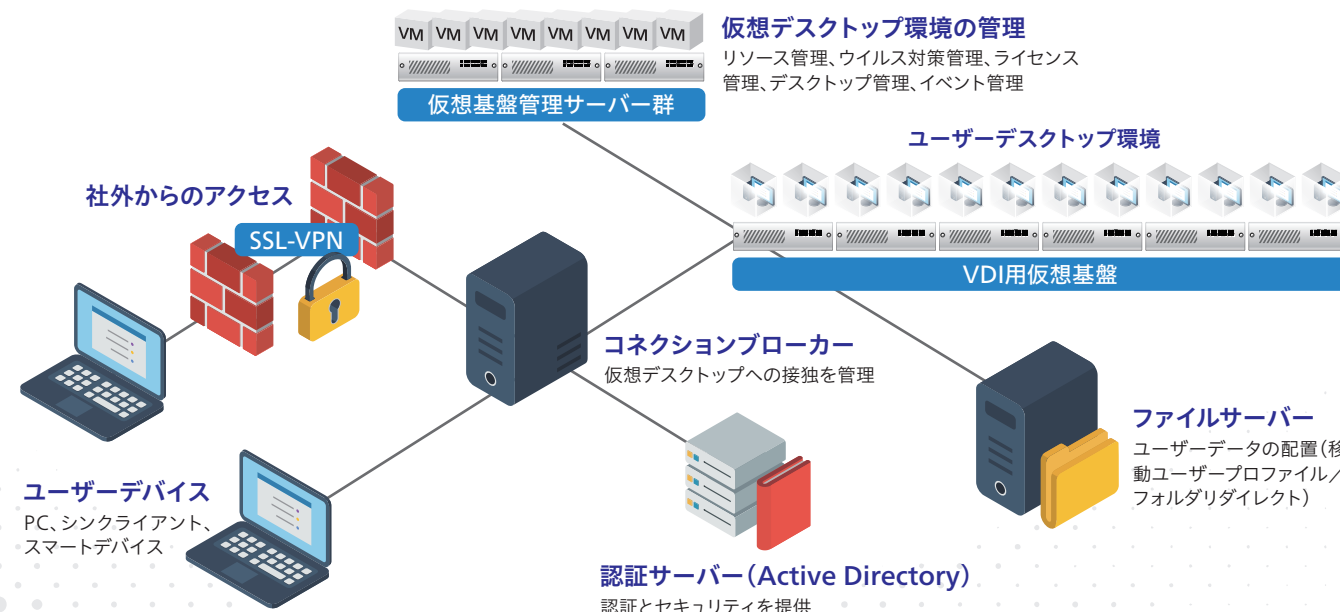
個別に行っていたOSのパッチ適用やソフトウェアのインストール、トラブル対応などを
サーバー側で集中的に行うことができ、運用管理者の負荷を軽減

3 セキュリティリスクの排除

端末側にデータを一切残さない安全な運用が可能、確実なパッチ適用や不要な
アプリケーションの排除でセキュリティポリシーの徹底を実現



● VDI 基盤コンポーネントの概要（イメージ）



■ SDGsへの取り組み



● デスクトップ環境の仮想化を実現しセキュリティ対策および業務の効率化を実現

vmware®

詳しい情報はこちら▶

<https://www.scskminori.co.jp/product/vdi/>



● 基盤

高性能マシン IBM Power Systems の
ワークロードを今すぐに

IBM Power Virtual Server

パワフルで高性能な AIX、IBM i、PowerLinux のワークロードを、今すぐクラウドで活用できます。オンプレミスからクラウドへのリフトはもちろん、BCPやハイブリッドクラウド、DX化にも最適なプラットフォームです。

課題

IBMシステムにこんな悩みありませんか？

- ▶クラウドの便利さを痛感、これからは積極的に活用したい
- ▶オンプレマシンの維持管理が負担になってきた
- ▶ハイブリッドクラウドに興味がある
- ▶BCP（災対）環境を安く早く構築したい
- ▶開発等で特定期間だけマシンを増強したい
- ▶新しい OS バージョンでアプリケーションを検証したい



効果

IBM Power Virtual Serverによる解決例

- 安価で低スペックな仮想マシンでBCPに備えておく
 - ▶通常時は Power VS 上に低スペックな災対サーバーを運用しておくことで維持費削減、いざ BCP の発動時は無停止で CPU とメモリを増強
 - ▶災対機の維持に欠かせない、リアルタイム同期ツールのご提供も可能（別オプション）
 - ▶リソースの利用料金は 1 時間単位で無駄がない
 - ▶検証用サーバーの追加や削除も簡単
- REST サーバーや DX アプリケーションを Power VS 上に配置する
 - ▶オンプレマシンをインターネットに接続することなく、安全に DX を進められる
 - ▶IBM クラウドで稼働するため Watson AI との連携にも有利

IBM Power Virtual Server の特長

- 1 AIX、IBM iの仮想サーバーを最短10分で利用可能**
管理コンソールログイン後は数クリック、わずか10分で区画が稼働
- 2 利用料金は1時間単位**
「ちょい開発」「ちょい検証」にも最適、CPU やメモリの一時追加もセルフサービスで自由自在
- 3 クラウドならではの柔軟性**
稼働中に CPU、メモリ容量が変更可能
- 4 仮想サーバーは世界中のデータセンターで稼働可能**
もちろん国内のデータセンターでも稼働可能、さらにデータセンター間を結ぶ高速通信網の利用は無償
- 5 IBM Cloudとの連携も柔軟に**
仮想サーバーのワークロードを Watson AI と連携することも、バックアップデータをクラウド上で保持しておくことも、仮想マシンをクローン展開することも



IBM、IBM ロゴ、ibm.com、IBM Cloud、IBM i、AIX、Power Systems、Watson は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp. の商標です

■ SDGsへの取り組み



- IBM Power Systems の仮想化技術で安定した統合環境を実現



詳しい情報はこちら▶

<https://www.scskminori.co.jp/product/power-virtual-server/>



動画▶



● 基盤

LANケーブルを減らし、高速・スムーズ・安定・連続な無線ネットワークを構築する次世代Wi-Fiソリューション

PicoCELA

次世代Wi-FiソリューションPicoCELAは、従来の機器では無線LANの設置が困難、あるいは高額な工事費用が必要な施設や環境への無線LANの設置を可能にします。インターネットに接続するコア機と、コア機に無線で繋がるスレーブ機の組み合わせで、独自の無線多段中継テクノロジーによる広大な無線LAN空間を容易に実現します。

課題

無線LANに関するお悩みはありませんか？

- 従来型のアクセスポイントでは機器ごとにLANの敷設が必要で大変
 - ▶ 設置するアクセスポイントの数だけLAN敷設が必要で現地調査に時間を要する
 - ▶ 一時的な利用のためにLAN敷設するのは困難
 - ▶ 既設のアクセスポイントの設置場所を変更するといった柔軟な対応ができない
- メッシュ型アクセスポイントでは無線ホップによるスループット減衰が心配
 - ▶ アクセスポイントを中断すると通信速度が遅くなるリスクがあり実用に耐えうるか不安

効果

PicoCELAによる解決例

- PicoCELA Backhaul Engine (PBE)
 - ▶ アクセスポイントごとに配線が必要な従来のアクセスポイントとは異なり、PicoCELA独自の無線多段中継テクノロジー「PicoCELA Backhaul Engine(PBE)」による子機同士の最適な無線中継により、最少の配線で広大で高品質な無線メッシュネットワーク空間を容易に実現
- 高い多段ホップ性能
 - ▶ 機器を中継すると数台で通信速度が遅くなる他社のメッシュ製品と比べ、独自方式で安定したスマートな接続環境を実現するPicoCELAでは、高いスループットを維持しながら安定した多段ホップを実現
- 柔軟な接続形態への対応と、付加価値を提供する管理ツール
 - ▶ 無線接続された機器同士は常に最適な中継経路を自律的に形成するため、レイアウト変更や障害時のネットワーク断絶を抑制
 - ▶ LANケーブルを併用したハイブリッド接続など、環境に合わせた柔軟でシームレスな接続が可能
 - ▶ クラウド管理ツール「PicoManager」(オプション)による多拠点統合管理が可能
 - ▶ PicoManagerを利用いただくことにより、PicoCELAデバイスが構成するWi-Fiメッシュネットワークの監視および管理が可能

■ SDGsへの取り組み



- 高性能の無線LAN設置でネットワークインフラの環境改善を実現

PicoCELA の特長

1 PicoCELA独自の無線多段中継テクノロジー

- ▶ 独自の「PicoCELA Backhaul Engine (PBE)」により、無線接続された機器同士の、効率的で安定したメッシュネットワーク環境を実現
- ▶ 多段ホップ時にも高いスループットを維持しながらの接続環境を実現

2 設置後も柔軟な運用が可能

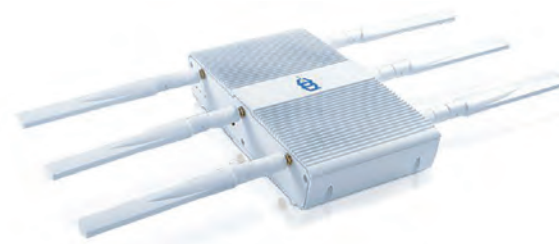
- ▶ 無線接続された機器同士が常に最適な中継経路を自律的に形成すセルフヒーリング機能
- ▶ 有線+無線のハイブリッド接続、機器に備えられたLEDでの電波強度測定機能など、設置後の機器の配置換えなどにも無線ネットワークならではの柔軟さが威力を発揮

3 クラウド管理ツール「PicoManager」

- ▶ 設置したPicoCELAデバイスをインターネットを介して常時監視し管理者はブラウザからの参照や設定変更が可能
- ▶ アンケート機能や人流解析など付加価値サービスの提供を可能に

● PCWL-0400

- 配線無しで、無線LANエリアを構築
- 企業向けの無線LANアクセスポイント機能を装備
- 大規模商業施設、オフィス、工場などの屋内向け
- 無線多段中継により、配線を削減
- 無線LAN規格：IEEE802.11g/n/a/ac、2.4GHzと5GHzの同時送信が可能
- 幅・奥行・高さ：215mm × 115mm × 50.5mm
- 重量：約 1,150g
- 動作温度：-20 ~ 50℃
- 保存温度：-20 ~ 50℃
- 取付金具：専用取付プレート、VESAマウント対応



● PCWL-0410

- PCWL0400の屋外版、配線無しで屋外無線通信網を構築
- 企業向けの無線LANアクセスポイント機能を装備
- 屋内外対応
- 無線多段中継により、配線を削減
- 無線LAN規格：IEEE802.11g/n/a/ac、2.4GHzと5GHzの同時送信が可能
- 幅・奥行・高さ：250mm × 250mm × 86mm
- 重量：約 1,800g (アンテナ含まず)
- 動作温度：-20 ~ 55℃
- 保存温度：-40 ~ 80℃
- 防水性能：IP67 相当
- 取付金具：専用取付アタッチメント



詳しい情報はこちら▶ <https://www.scskminori.co.jp/product/picocela/>



動画▶



● セキュリティ

世界で最も安全なエンドポイント保護ソリューション
～エンドポイントセキュリティは「検知」から「隔離」という新時代へ～

HP Sure Click Enterprise

外部から受信したファイルやWebサイトへのアクセスを、『MicroVM』と呼ばれる仮想環境で展開することで、たとえマルウェアに感染したファイルを開いたり不正プログラムをダウンロードしたとしても、PCには影響が及びません。従来のマルウェア対策製品とは全く異なる発想で、外部からの脅威に対して防御・検知・分析します。

課題 セキュリティや業務効率について、こんな悩みはありませんか？

- セキュリティ対策をいくら実施してもいたちごっこになってしまう
 - ▶ 企業ネットワーク内部への侵入事例のうち2/3が悪意の添付ファイルによるもの
 - ▶ 99%のマルウェアがポリモーフィック(多態型)機能を有している
- セキュリティレベルを上げれば上げるほど業務効率が悪くなる
 - ▶ セキュリティソリューションを導入したことでパフォーマンスが著しく低下したり、操作オペレーションが煩雑になっている
 - ▶ 結果として違う方法でのオペレーションが増え、セキュリティリスクが拡大してしまう
- さまざまな脅威に対する対応が煩雑で運用が後手に回ってしまう
 - ▶ 攻撃を防ぎつつ、検出された脅威情報をリアルタイム／詳細に把握したい
 - ▶ 検知や事後対策ソリューションを導入しているが、本来は防御などの事前対策に投資したい

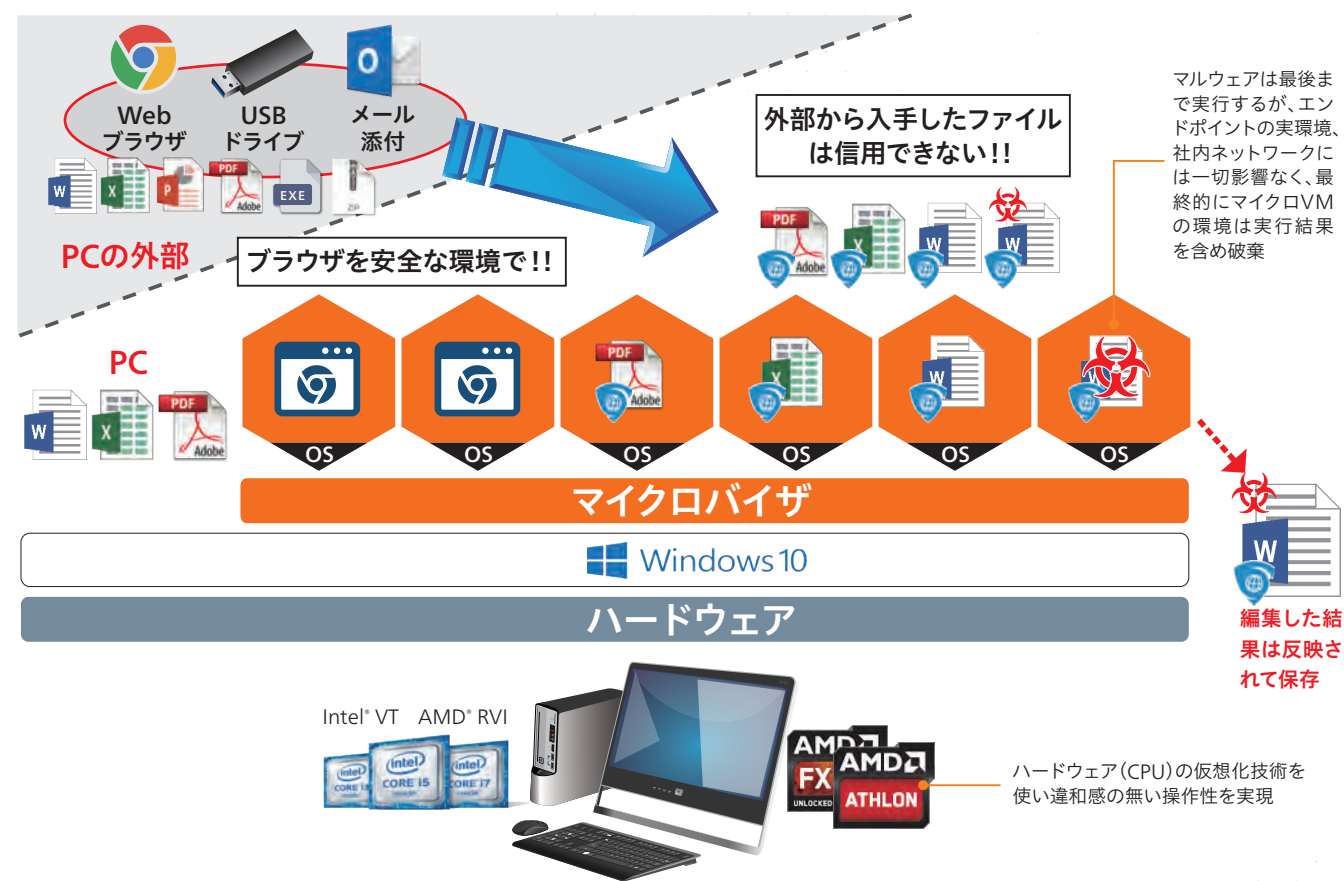
効果 HP Sure Click Enterpriseによる解決例

- エンドポイントの攻撃サーフェスに対する攻撃を隔離して阻止
 - ▶ 外部からのファイル、Web共有リンク、ダウンロードファイルをPC内仮想空間で動作させて予防
 - ▶ 感染リスクのある各操作に対して、独立したマイクロ仮想環境(MicroVM)を生成しPCを完全に保護
- セキュリティを確保しながら業務効率を維持、運用管理軽減も実現
 - ▶ ファイル実行がPC本体上かMicroVM内なのか見え方に差がなく、普段の感覚でファイルの操作が可能
 - ▶ 安全で隔離された環境でマルウェア挙動をトレースし、脅威情報を簡単に分析・把握することが可能

HP Sure Click Enterpriseの特長

- 1 外部脅威に対して堅牢なアーキテクチャ**
これまでの対策でできなかった顕在化してしまった攻撃に対しても被害の予防・回避が可能
- 2 ユーザーの使い勝手への影響を極小化**
高速かつ効率的な動作を実現、動作遅延等ユーザーの生産性に影響を与えることがほとんどない
- 3 インシデント発生時の初期対応を自動化**
インシデント発生時に必要な隔離と事象の特定、影響範囲の絞り込み等一連のプロセスが自動化可能
- 4 セキュリティ強度が高くインターネット分離にも有効**
ネットワーク変更やサーバー側の設定が不要で、論理的にインターネット分離環境を構築することが可能

アプリケーション隔離の技術と動作概要



対象アプリケーションは仮想マシン上で起動される

見えないものを探すのはやめて
セキュリティ対策は「検知」から「隔離」へ!!

SDGsへの取り組み



- エンドポイントセキュリティを強化し外部からの攻撃を防御

HP Sure Click Enterprise

Bromium
詳しい情報はこちら▶

<https://www.scskminor.co.jp/product/sureclickenterprise/>



動画▶



● セキュリティ

Microsoft 365/Google と連携可能な
メール誤送信防止クラウドサービス

PlayBackMail Online

間違えた時に送信を止められるため、メール送信時のストレスを軽減し安心をプラスします。
社外に送信される可能性のあった不適切なメール送信を取り消します。

課題 メール送信時のこんなうっかりミス、ありませんか？

■ 宛先・本文の間違い

- ▶宛先を間違えてメールを送信してしまった
- ▶内容の誤りに気が付かずに、メールを送信してしまった

■ 添付ファイルの間違いを無くしたい

- ▶誤った見積内容のファイルを送付してしまった
- ▶CCに入れた同僚が誤りに気が付いたがどうすることもできなかった

■ BCC設定忘れ

- ▶ダイレクトメールを送信する際に、宛先をToで送信してしまった

効果 PlayBackMailによる解決例

■ PlayBackMail導入後

▼ 弊社PlayBackMail導入企業 1年間の統計より

IT関連 A社 約280名	メール送信数 146,568	取り消し数 3,240	BCC変換数 72
サービス業 B社 約470名	メール送信数 691,836	取り消し数 4,032	BCC変換数 0
製造業 C社 約600名	メール送信数 1,662,976	取り消し数 1,196	BCC変換数 428
IT関連 D社 約7,600名	メール送信数 7,778,451	取り消し数 63,753	BCC変換数 21,562

PlayBackMailの機能でメールを送信保留中に送信の取り消しを行った件数

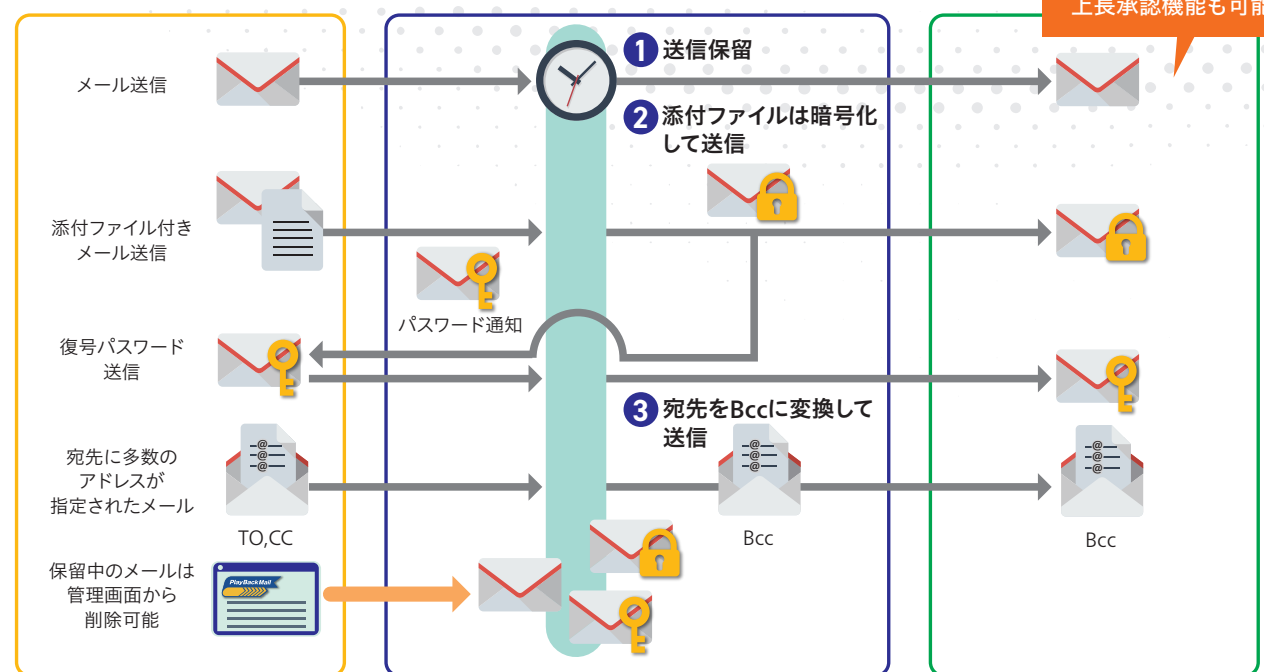
宛先 (To) に多数のアドレスを指定したことで、メールアドレスの漏えいの可能性があったメールをPlayBackMailの機能でBccに変換して送信した件数

社外に送信される可能性のあった不適切なメール送信を取り消し

PlayBackMail の特長

- 3つの機能を標準提供
① 送信保留 ② 添付ファイル暗号化 ③ BCC変換
- 1ユーザー 180円/月でご提供
添付ファイル暗号化/BCC変換/送信保留
- Microsoft 365/Google Workspace対応
主要なクラウドのメール環境やオンプレミスのメールサーバーに対応

● うっかりミスを水際で止める



● 簡単な操作性で特別な教育は不要



送信保留メール画面 (ユーザー用操作画面)

● 社内の同僚をCCに入れたり、同僚による送信取り消しが可能



安心のサポート

緊急時に受付可能な電話
サポート窓口のご利用が
料金に含まれます。
(24時間/365日対応)

■ SDGsへの取り組み



- 添付ファイル暗号化/BCC変換/送信保留機能(誤送信対応)でメールに関わる業務を支援



詳しい情報はこちら▶

<https://www.playbackmail.com/>



動画▶



● セキュリティ

誤送信防止『Microsoft Office Outlookアドイン』
メール誤送信防止を『仕組み』で解決

ホッとLookPlus

Outlook 専用の誤送信防止アドインです。社外ドメイン、添付ファイルがあるメールを自動的に判別し、確認画面をポップアップ。いつものOutlookでメール誤送信防止を簡単に行えます。

課題 メール送信の際にこんなことはありませんか？

- 宛先の間違いを無くしたい
 - ▶宛先を間違えてメールを送信してしまった
- 添付ファイルの間違いを無くしたい
 - ▶取引先に社内向けの資料を送付してしまった
- 社外宛メールの送信時だけ確認を徹底したい
 - ▶誤送信対策ツールの導入を考えているが、部門や一部社員だけで導入したい

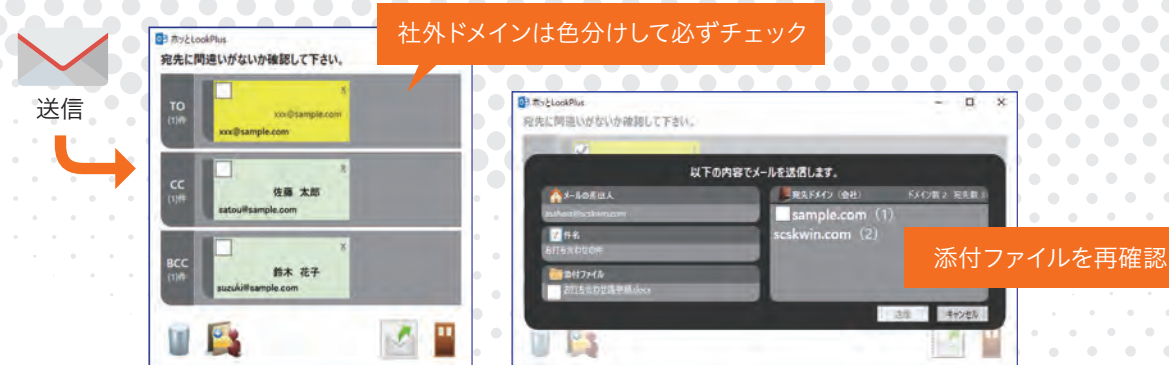
効果 ホッとLookPlusによる解決例

- 送信時の確認を強化
 - ▶送信時に宛先、添付ファイルの確認を強制化
 - ▶宛先を大きく表示、フォントサイズの変更も簡単
- 類似ドメイン、類似アドレスの間違い解消
 - ▶内部ドメイン、社外ドメインを色分けして表示
 - ▶ドメインごとに宛先数を確認して、間違いを防止
- クライアントPCにSetup導入
 - ▶PCにソフトウェアを入れるだけで簡単に利用可能
 - ▶部門や一部社員に限定した導入が可能

ホッとLook Plusの特長

1 自動チェックの正確性

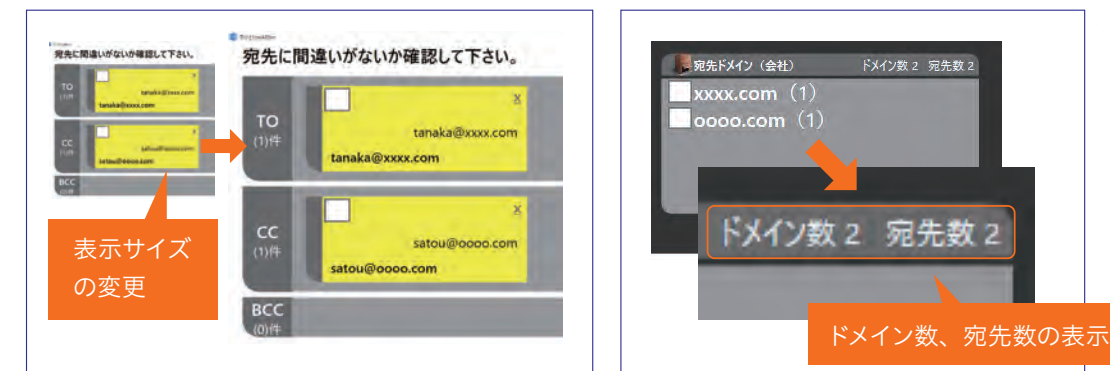
社外ドメイン宛てメールは確認画面を必ず表示
添付ファイルがあればさらに二段階チェック



外部送信先、添付ファイルをチェックして確認しないとメール送信できません

2 見落とさない視認性

社外ドメインのハイライト表示
フォントサイズ変更で認識しやすくユーザーに「気付き」を促すドメイン数、宛先数表示



3 簡単導入&大きな効果

Outlook環境にインストールのみ、サーバー不要
社内ドメインの指定、CC/BCCの自動設定色、フォントサイズを簡単変更



■ SDGsへの取り組み



● メール宛先、添付ファイルの
確認を仕組みで支援

ホッとLookPlus

詳しい情報はこちら▶

<https://www.scskminori.co.jp/product/hotlookplus/>



動画▶



● 運用管理

サーバレスで簡単に利用できる
Azure AD/Microsoft 365 ライセンスの管理を効率化

AD-easy

Microsoft 365 導入も別途承ります

『管理作業の時間と手間』『運用担当者の分散』など Active Directory/Azure AD アカウント管理の問題を解決する当社オリジナル管理ツールです。

課題 アカウント管理に関するこんなお悩みありませんか？

- 期末の組織変更・人事異動への対応で管理者が徹夜
 - ▶管理がひとつひとつの設定を個別に変更
 - ▶スケジュール実行ができず、対応が遅れがち
- 独自スクリプトが属人化してメンテナンス不能
 - ▶スクリプトの開発やメンテナンスが大変
 - ▶特定の管理者だけが内容を把握しており、担当者が代わったらメンテナンスできない
- アカウント・グループポリシーが棚卸しできず無法地帯
 - ▶退職した社員のIDが社内システムにアクセス可能なまま残っている
 - ▶オペレーションミスの際、復旧に時間がかかる

効果 AD-easyによる解決例

導入前の状況

- 社員数 約4,000名 ●IT担当者 5名
- 人事異動時期におよそ40時間(5日×8時間)と、作業負荷が大きかった

■ AD-easy 導入後

- ▶更新作業:4時間と作業負荷が大幅に低減
- ▶人事システムからタイムリーにアカウントを連携
- ▶手戻りの原因である更新ミスも、バックアップから簡単に修正可能に
- ▶退職した社員のアカウント整理が容易になり、不要なアクセス権の付与を解消できた

人事異動時の
アカウント変更作業を
約1/10に短縮

AD-easy の特長

1 強力なアカウント作成・編集機能

Active Directory の標準では用意のないExcelライクな表形式での操作、CSV ファイルでのインポートや修正などが可能

2 柔軟なアカウント管理を支援

夜間対応や定期的な実行、バッチスクリプトとの連携によるカスタマイズ実行、パスワード忘れへの対応等、運用状況に応じたさまざまな対応を支援

3 Microsoft 365 ライセンス管理

AD-easy経由でMicrosoft 365のアカウント管理・ライセンス付与が簡単に行える専用GUIからの操作やCSVファイルでの一括操作などが可能

4 安全なアカウント管理(ミス防止)

管理での「うっかりミス」を防止
(アカウント削除の制限、更新履歴の自動保存など)

5 Exchange PowerShell コマンドレット対応

メールボックスの各機能の有効・無効、クォーターサイズの設定や現在のサイズ、各種ユーザーでの設定等、Exchange Server のPowerShellを用いて、きめ細かな管理作業を支援

● Excel ライクな表形式操作

● Office365 ライセンス付与状況の確認

ライセンスの付与、
無効化が可能利用しない列は無視、
または
マッピング可能

● CSVによるユーザー作成例

空白値はスキップ
指定の文字を設定して
空白値として更新可能

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	役職	姓	姓(フリガナ)	名	名(フリガナ)	Fam	Name	表示名	フルネーム
2	課長	昭島	アキシマ	雅哉	マササカ	Akishima	Masasaka	昭島 雅哉	100
3		上田	ウエダ	直富	ナオミ	Ueda	Naotomi	上田 直富	101
4		佐村	サムラ	真子	マコ	Samura	Mako	佐村 真子	102

CSVファイルのアカウントが
既存アカウントなら更新、
なければ新規作成を判別

試して納得！ 無料トライアルご提供中

AD-easy は「すべての機能」を
「無料で」お試しいただける
評価版をご提供しております

■ SDGsへの取り組み



- 効率的なアカウントの管理および運用を支える

AD-easy

詳しい情報はこちら▶

<https://www.scskminor.co.jp/product/ad-easy/>

動画▶



● 運用管理

Windows 標準の HDD/SSD 暗号化機能
『BitLocker』管理クラウドサービス

PerfectWatch for BitLocker

BitLockerはWindows OSに搭載されるHDD/SSD暗号化機能で、追加コストなしにHDDを暗号化することができます。PerfectWatch for BitLockerは、BitLockerの機能を補完、安全性を強化して効率的な集中管理を実現します。

課題

BitLockerに関するこんなお悩みありませんか？

- 暗号化状態を一元管理したいが・・・
 - ▶ BitLockerはクライアントOSの機能のため管理ツールがない
 - ▶ 回復パスワードを管理しないと非常時にデータの救出ができない
- Admin権限を付与しているので解除されないか心配
 - ▶ 暗号化して出荷しても、Admin権限があれば自由に解除可能
- WindowsのUpdateで既存ツールに障害多発
 - ▶ 3rdパーティー製ツールでは、FU適用時の障害や、対応のリードタイムが課題に

効果

PerfectWatch for BitLockerによる解決例

建設業のお客様

- 全国800カ所に分散した1万4000台規模のPCを一元管理
暗号化によるデータ保護を確実に担保できる環境を実現

▶ お客様の課題

全国800カ所にあるPCのプロジェクト情報の確実な保護
Windows 10のUpdateに起因するHDD暗号化ソフトの不具合をなくしたい
イントラネットにつながらないPCの復旧支援の効率化

▶ 課題解決の成果

全国各地のPCをBitLockerによる暗号化で保護
Windows 10のUpdateにおけるPC障害が解消
クラウドでの一元管理でPCの復旧支援が劇的に効率化

PerfectWatch for BitLockerの特長

- 1 暗号化状態を集中管理
- 2 利用者の暗号化解除を抑制
- 3 回復キーの不正使用を防止

PCのBitLocker 暗号化を
安全に・効率的に集中管理

? 回復キーはどうやって管理するの？

トラブル時に必要な回復キーは、一度使用したら再作成し、古い回復キーは使えなくなるため、情報漏えいを防ぐ

? 利用者が自分で暗号化を解除しようとしたら？

解除処理が自動的に停止し、再暗号化される

? 集中管理に便利な機能は？

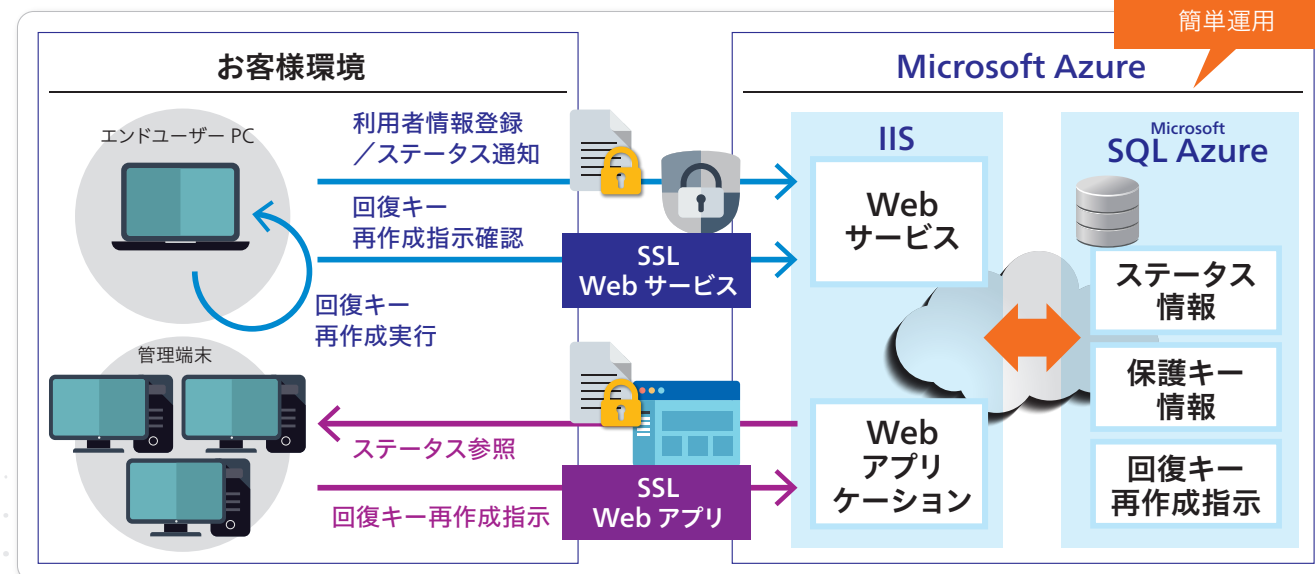
非Active Directory環境でも、PCのBitLocker 暗号化状態を管理できる

? 回復キーはどこに保存される？

クラウド上のSQL Azure、または自社サーバーのSQL Serverで一元管理

? 統計情報は見られる？

CSVをダウンロードして加工することで、分析や統計が可能



■ SDGsへの取り組み



- Windows OS 標準搭載の HDD 暗号化の集中管理を支援



詳しい情報はこちら▶

<https://www.scskminor.co.jp/product/perfectwatch-for-bitlocker/>



動画▶



● 運用管理

マルチテナント環境でMicrosoft 365をご利用中の企業におすすめ
テナント間のユーザー情報を同期

One Address 365

Microsoft 365 導入も別途承ります

異なるMicrosoft 365テナント間で連絡先（グローバルアドレス帳）を同期し、OutlookやTeamsで利用可能にするソフトウェアです。海外拠点や関連会社など、別テナントに所属するユーザー間のコミュニケーションを強化します。

課題

複数テナント環境では、こんなお悩みありませんか？

- 海外や支店など別拠点の担当者がわからない
 - ▶ 拠点間での交流がないため、担当者の氏名やメールアドレスがわからない
 - ▶ 部署名や役職で検索をしたい
- Teamsで協業したいがゲストユーザーをメンバーに追加できない
 - ▶ 管理者がユーザーからの申請に基づいてゲストユーザーを登録する方法があるが、コスト負担が大きくなる
 - ▶ ユーザー全員に権限を付与して、ユーザーにゲストユーザーを登録させる方法もあるが、セキュリティリスクが高い
- アカウントの登録情報がグループ会社間でバラバラ
 - ▶ アカウント情報を統合しようと考えても、グループ間で登録フォーマットが違う
 - ▶ ユーザー検索の際に、同名ユーザーが表示されるため、会社、部署、役職の情報を付与する必要がある

効果

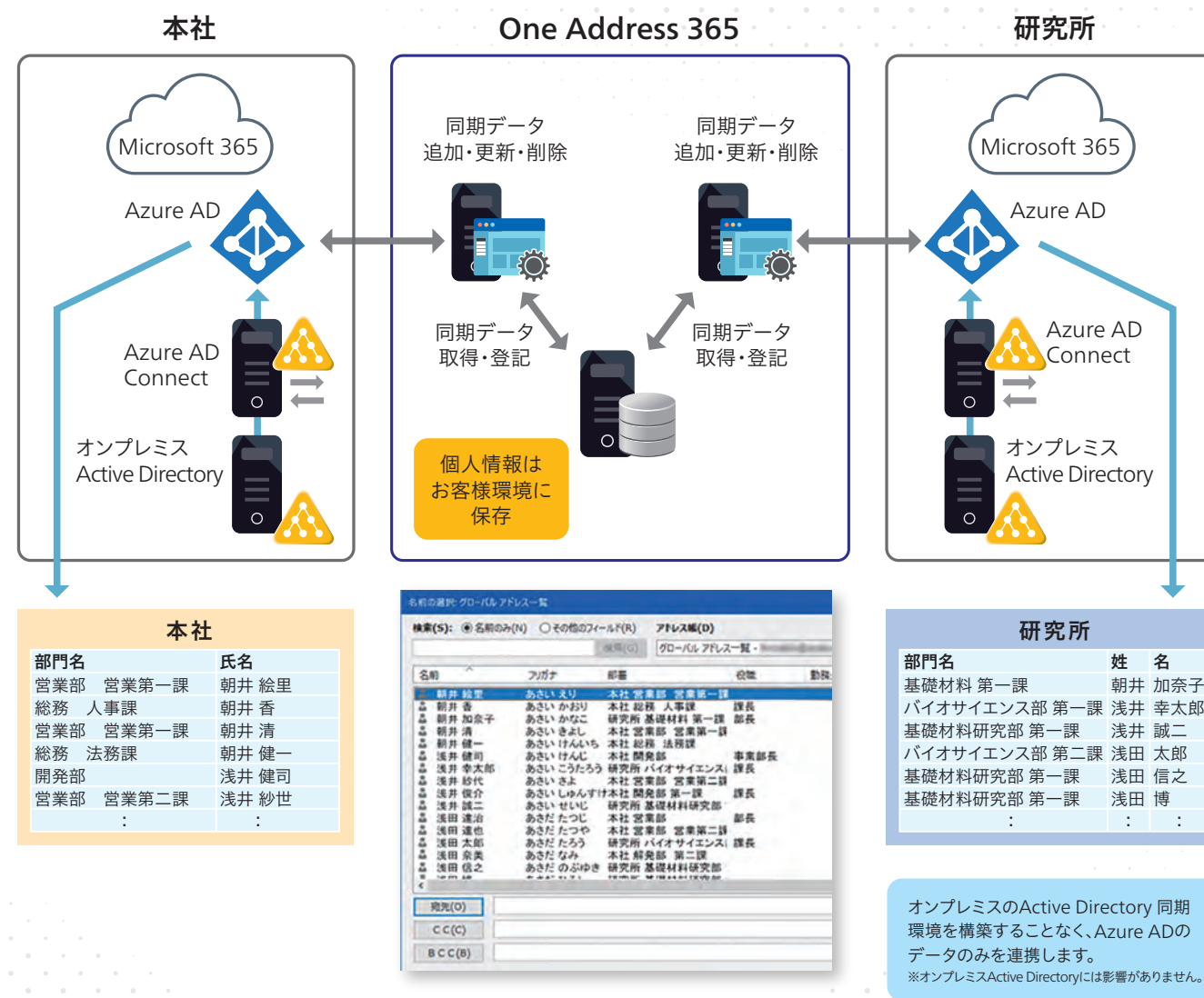
One Address 365による解決例

- 別テナントのユーザーをOutlookで検索
 - ▶ 別テナントのユーザー情報を自動的に同期し組織や役職などからユーザーを検索、メール送信や会議の招集ができるようになる
- 安全にTeamsのMicrosoft 365グループを作成
 - ▶ 管理者やユーザーの運用コストをかけずに安全に別テナントとコラボレーションするグループが作成できる
- 複数テナントのユーザー情報を統合
 - ▶ 各テナントのユーザー情報を統一した形式でグローバルアドレス帳に自動的に同期できる

One Address 365の特長

- 1 Microsoft Azure にシステム展開**
 - ▶ お客様のAzureテナントに導入するため、Azure環境以外に個人情報は保存されない
 - ▶ 複数の同期先を指定することができる
- 2 ライセンスモデルで提供**
 - ▶ 最小3か月単位での利用許諾権の購入でご利用可能
 - ▶ ご利用テナント単位での購入
- 3 OutlookだけでなくTeamsにも対応**
 - ▶ 連絡先またはゲストユーザーとして同期し、Microsoft 365のコラボレーション機能を活用

一つのOutlook画面で拠点間のユーザーを全て検索できる



■ SDGsへの取り組み



● Microsoft 365テナントのアドレス帳を同期し、相互コミュニケーション強化や業務効率化を実現

One Address 365

詳しい情報はこちら▶

<https://www.scskminor.co.jp/product/microsoft-solutions-service/one-address-365/>



動画▶



Windowsクライアントのアップデートを
まるごとアウトソーシング

aider Cast

OSのアップデートはセキュリティ対策の基本にも関わらず意外と管理は大変です。aider Castは更新プログラム配信ソフトUnifier Castを利用してWindowsアップデートを管理者様に代わって実施する運用支援サービスです。

課題

Windowsのアップデートでこんな悩みを抱えていませんか？

■ Windowsアップデートの管理ができておらずトラブル続き

- ▶勝手にアップデートがかかり「プリンタが使えなくなった!」「Excelが起動しない!」等の問い合わせが殺到している
- ▶アップデートしていないPCが既知の脆弱性を突かれて機密データが盗まれてしまった

■ 計画的なアップデートを実施したいけど人手が足りない

- ▶Windowsのアップデートに失敗した原因の調査に時間がかかっている
- ▶全社配信の前に検証したいけど人員が割けない

■ リモートワーク用PCのWindowsアップデートはどうしよう

- ▶リモートワーク用にPCを大量導入したけどアップデートまで考えていなかった
- ▶リモートワーク用のPCにアップデートを配信したらVPN装置がハングアップして問題が発生

■ Microsoft 365のアップデートやその他のソフトも配信したい

- ▶Officeの更新方法が変わってWSUSから配信できなくなってアップデートしていない
- ▶Adobe ReaderやGoogle Chromeのアップデートも行いたい

効果

aider Castによる解決例

■ アップデートの事前検証、配信、配信後のフォローまでワンストップで提供

- ▶意図しないアップデートトラブル回避のため事前の情報収集およびテスト配信を専門の担当者が実施
- ▶アップデート配信後のアップデート状況確認、失敗の原因調査まで担当者がサポート

■ Unifier CastはリモートワークPCやMicrosoft 365の配信にも対応

- ▶Unifier CastならVPN装置へ負荷をかけずにリモートワークPCへWindowsアップデート配信が可能
- ▶C2R形式のOfficeのアップデートにも対応しており、その他サードパーティ製ソフトの配信も可能

aider Castの特長

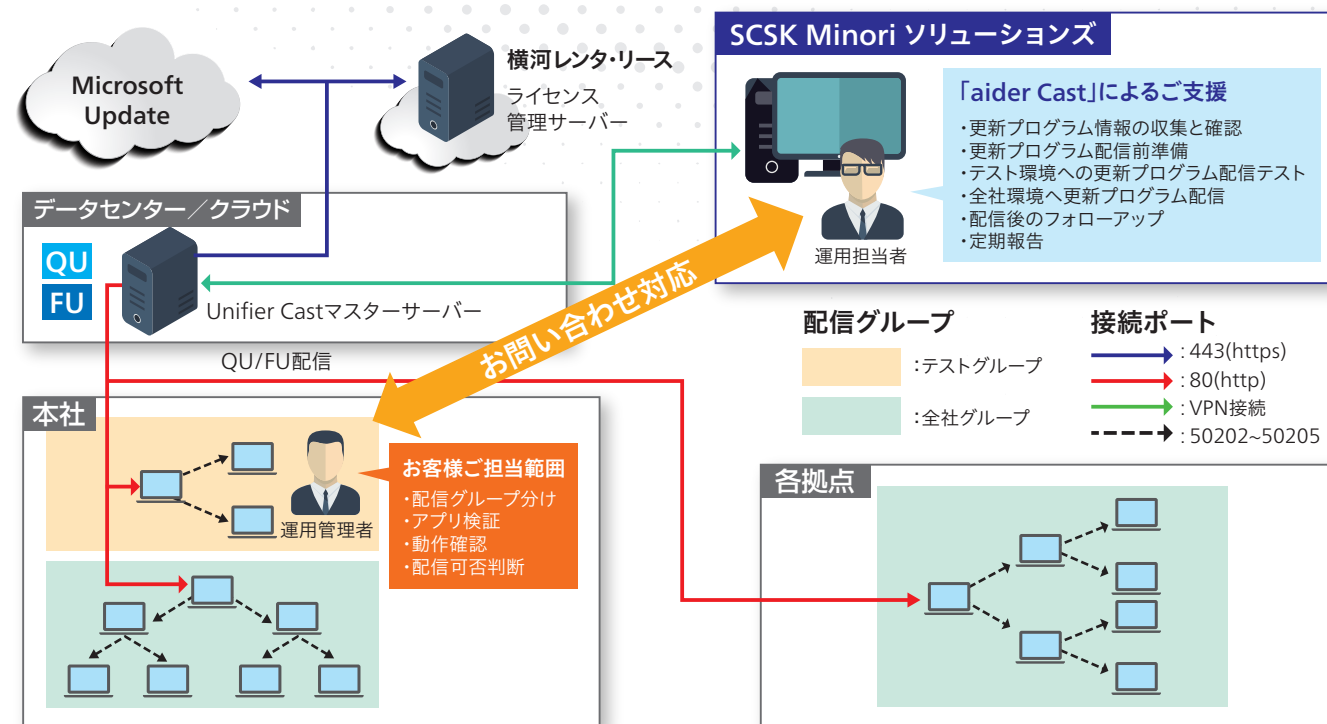
1 aider Castの特長

- ▶アップデートプログラムの情報収集・テスト配信・本番配信・配信後のフォローまでワンストップで提供
- ▶Windowsの脆弱性情報を随時チェックしてセキュアな環境づくりをサポート

2 Unifier Castの特長

- ▶ネットワーク帯域の負荷を軽減する配信機能(分割配布・分散配布)でWANをまたいだ配信も安心
- ▶軽量パッケージ機能によりVPN装置に負荷をかけないアップデート配信が可能
- ▶ダッシュボード機能で配信状況が一目瞭然、さらにはアップデート失敗の原因まで日本語で表示

aider Castサービスの提供イメージ



● aider Cast サービス内容

ヘルプデスク	・Unifier Castの技術的仕様のQ&A対応 ・メーカー・ベンダーエスカレーションの代行 など
更新プログラム情報の収集と確認	・メーカーから発表される定期アップデートの情報をもとに更新プログラム情報(脆弱性情報、深刻度、影響度、リリース後の不具合情報)を確認
配信前準備	・Unifier Castにて対象の更新プログラム受信状況の確認を行い、調査結果をもとに適用可否を判断
テスト環境へ配信テスト	・対象更新プログラムをテスト環境に対して配信 ・お客様検証中に発生した不具合の原因調査 ・不具合発生時の原因調査および更新プログラム配信停止作業
全社環境へ配信	・セキュリティ面および安定稼働について問題がないことを確認後、対象更新プログラムを全社環境に対して配信
配信後のフォローアップ	・更新プログラム適用状況(未適用端末のリストアップ)の報告 ・更新プログラム適用による不具合が発生した場合、更新プログラム情報、対象端末の情報を連携し、更新プログラム配信停止を実施
定期報告	・適用計画、準備～配信、適用～課題対応に関する進捗報告 ・更新プログラム適用率、未適用率のレポートを定期的(月次)に報告書をメール添付

■ SDGsへの取り組み



- Windows10更新の適用管理をワンストップで行い業務効率化を実現

aider Cast/ Unifier Cast

詳しい情報はこちら▶

<https://www.scskminor.co.jp/product/aidercast/>



動画▶



● ワークスタイル

安価にテレワーク環境を整える
データレスPC™ソリューション

Flex Work Place Passage

テレワークを実現するためには、利便性とセキュリティの両立が重要です。PCにデータを保存しない『データレスPC™』なら、PCの紛失・盗難時の情報漏えいリスクがなく、自宅や外出先などでも会社と同等の作業が行えます。

課題

テレワークについて、こんな悩みはありませんか？

- 導入や運用コストを抑えてテレワークを実現したい
 - ▶ VDIを検討したが高価かつサービス開始までの時間もかかる
 - ▶ DaaSはサービス利用のランニングコストが高価となる
- セキュリティ対策を実現したい
 - ▶ PCの暗号化ではデータ漏えい対策は不十分である
- 快適なテレワークを実現したい
 - ▶ テレワークのPCの動作が遅い
 - ▶ Web会議がカクカクする

効果

Flex Work Place Passageによる解決例

- VDIやDaaSと比較し導入コストは約1/10、導入期間は約1/3に短縮

※横河レンタ・リース社調べ

 - ▶ VDIで必要となる高価な専用サーバーやストレージが不要
 - ▶ Microsoft VDAの費用が不要
 - ▶ VDIで必要となるハードウェア設計や調達にかかる期間が不要
 - ▶ 無償トライアル(30日間)活用によるPoC(実証試験)が可能
- セキュリティはVDIやDaaSと同等
 - ▶ パソコンのデータはローカルHDDよりも堅牢なネットワーク上のストレージに保管
- 使い勝手や操作性は通常のPCと同じ
 - ▶ アプリケーションはPC内で動作するためWeb会議や動画再生等も快適に動作

Flex Work Place Passage の特長

● パソコンの管理者は、

1 セキュリティと利便性を両立したモバイルワーク

- ▶ パソコン持出時の紛失や盗難によるデータ損失のリスクを軽減
- ▶ パソコンの操作性は変わらない
- ▶ Passageをパソコンにインストールすれば使用可能

2 セキュリティリスクの排除

- ▶ 端末側にデータを一切残さない安全な運用が可能、確実なパッチ適用や不要なアプリケーションの排除でセキュリティポリシーの徹底を実現

● パソコンの利用者は、

1 企業データの集中管理、ガバナンス強化

- ▶ 貴重な企業データはパソコンのローカルHDDよりも堅牢なネットワーク上のストレージで集中保管
- ▶ データの個人保有を防止
- ▶ ストレージ側で定期的なバックアップを行うことで、パソコンのデータバックアップの代替も可能

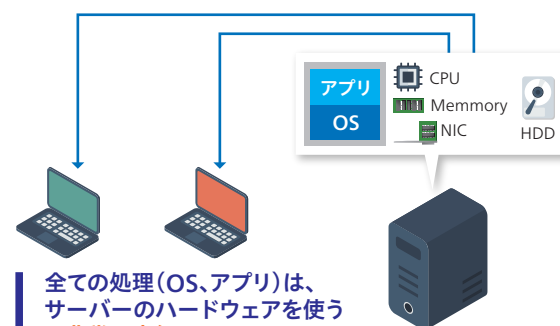
2 簡単・確実なパソコンのリプレース

- ▶ ユーザーデータをパソコンに保存しないため、リプレースや修理交換に伴うデータ移行や、廃棄の際のデータ消去が不要

3 導入コスト・運用コストを大幅削減

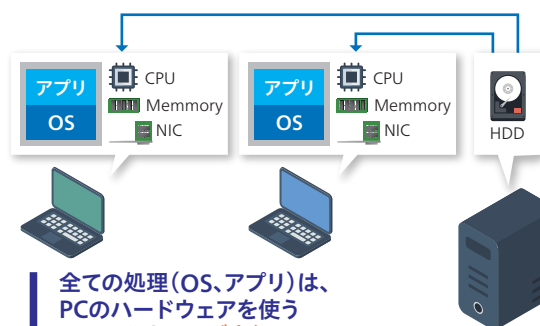
- ▶ VDIやSesktop as a Service(DaaS)の導入コストや導入工数と比較して、圧倒的に低コスト、短納期

● 一般的なVDI PCにデスクトップ画面を転送する



ハードウェアを共有しているため他のユーザーの使い方に影響を受けて性能が安定しないことがある

● データレスPC™ データだけをサーバーに置く



OSやアプリを実行するハードウェアは共有されないため性能が安定しやすい

	データレスPC™	VDI	備考
データ漏えい防止	◎	◎	VDIと同等
データ消失防止	◎	◎	VDIと同等
オフライン利用	◎	×	VDIではオフラインでの利用は原則できない
安定性	◎	△	VDIはハードウェアを共有するため安定性に難あり、またサイジングが難しい
導入の容易さ	◎	△	VDIはサーバー仮想化やVDI特有の技術の習得が必要になる上、ハードウェアが高価なため、導入コストが高い
導入コスト	◎	△	

*「データレスPC」は横河レンタ・リース株式会社の登録商標です。

■ SDGsへの取り組み



● データを持たないデスクトップ環境を提供し新しい働き方を実現する



詳しい情報はこちら▶

<https://www.scskminor.co.jp/product/passage/>



動画▶



● ワークスタイル

働き方改革に不可欠なWeb会議ツール
簡単操作、高画質、高い安定性

Zoom

テレワークをはじめとした新しい働き方が近年急速に普及しています。Zoomは社内関係者、社外関係者、お客様とのリモートワークで生まれる、さまざまな局面でのコミュニケーションの溝を解決します。

課題

Web会議のコミュニケーションにこんなお悩みありませんか？

■ Web会議中にたびたび遅延や通信断が発生する

- ▶不安定なネットワーク環境だとすぐに落ちてしまい時間ロスになる
- ▶ビデオ、画面共有を同時にすると遅延が発生し同時に使えない

■ マルチデバイスに対応していない

- ▶iPhoneは対応しているがAndroidは対応していない
- ▶FAT-PCは対応しているがVDIは対応していない

■ オフライン研修や対面での打ち合わせが困難

- ▶ユーザーごとに自由に利用できるWeb会議の導入が急務
- ▶既存のWeb会議ツールではグループディスカッションの機能がない

効果

Zoomによる解決例

■ これまでのWeb会議サービスに無い安定性と使い勝手を提供

- ▶独自の高データ圧縮技術で高画質・高品質な画像・音声をLTEなどのモバイル回線でも利用可能
- ▶マルチデバイス対応で、接続時にデバイスが認識しないなどの手間がかからない

■ ブレークアウトルーム機能やウェビナーライセンスの活用

- ▶会議室の分割（ブレークアウトルーム）で、全体セッション、グループセッションという形式がとれる
- ▶Zoomのウェビナー機能（オプション製品）を利用し、セミナー開催ができる

製品・サービス名の特長



1 これまでのWeb会議サービスに無い安定性

独自の高データ圧縮技術で、これまでのWeb会議サービスにはできなかった、高画質・高品質な画像・音声をモバイル回線でも利用できる

2 デバイス接続が容易であり、選択も豊富

マルチデバイス対応でPCに接続するデバイスを選ばない、接続時にデバイスが認識しないなどの手間がかからない

3 会議参加はワンクリックで簡単接続

参加者は、メールで来たミーティングIDをクリックするだけでミーティングに参加できる
※現在はセキュリティ対策としてパスワード入力が必要な場合もあります

4 ライセンス・アカウント登録のオペレーションコスト低減

ライセンス・アカウント登録は、主催者のみが必要で、参加者はアプリケーションから参加するだけ、月々のコストを低減させることができる

5 クラウドサービスだから情報共有も簡単

他のクラウドサービスと連携し、情報共有を容易に行える

Zoom サポートセンター開設

Zoom有償ライセンスのご契約を締結いただいたお客様に快適にご利用いただくため、Zoomサポートセンターを開設しました

Zoom 無償トライアル

Zoom有償ライセンスのご契約をご検討中の法人様向けに、30日間の無償トライアルをご提供
ご契約前に、お客様の環境で有償版Zoom全機能の使用感、サポートの効果等をご確認いただけます

● 3種類のライセンスを発行します

Zoom Meeting (最大100接続)	Zoomウェビナー (最大500接続)	Zoom大規模ミーティング (最大500接続)
Web会議、画面共有、録画やチャットなど、Zoomの基本機能	オンラインで行うセミナー機能 チャットによる問い合わせも可能	最大500名までZoom Meetingに 接続可能

※Zoom及びZoom名称を含むサービスはZoom Video Communications, Inc.が提供するサービスです。
※Zoomロゴは、米国Zoom Video Communications, Inc.の登録商標です。

■ SDGsへの取り組み



● コミュニケーションツールで
働き方改革を推進

zoom

詳しい情報はこちら▶

<https://www.scskminori.co.jp/product/zoom/>





SCSK Minori Solutions | Solution Book

■製品の内容は予告なく変更する場合があります。■会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

SCSK SCSK Minoriソリューションズ株式会社

本社 〒135-0061 東京都江東区豊洲3-2-20 豊洲フロント
URL : <https://www.scskminor.co.jp>
問い合わせ先 : contact@scskminor.co.jp